Empowered by Innovation NEC

2011年度（12年3月期）
第1四半期決算概要

2011年7月28日

日本電気株式会社

(http://www.nec.co.jp/ir/ja)

目　次

Ⅰ．第１四半期 決算概要

Ⅱ．上期業績予想サマリー

- 決算概要（補足）
- 業績予想（補足）
- 参考資料（業績データ）

© NEC Corporation 2011

Ⅰ. 第1四半期 決算概要

第１四半期 実績サマリー

売上、損益ともに前年同期比で改善

- キャリアネットワークとパーソナルソリューションが営業黒字化

（単位：億円）

	第１四半期 <4～6月>		
	10年度 実績	11年度 実績	前年 同期比
売　上　高	6,675	6,691	0.2%
営　業　損　益	△ 232	△ 194	38
対売上高比率（%）	-	-	
経　常　損　益	△ 405	△ 296	108
対売上高比率（%）	-	-	
当　期　純　損　益	△ 431	△ 297	134
対売上高比率（%）	-	-	
１株当たり当期純損益（円）	△ 16.61	△ 11.43	5.18
フリーキャッシュフロー	△ 422	165	588

参考：第１四半期の売上平均為替レート（実績）1ドル＝82.16円、1ユーロ＝116.90円

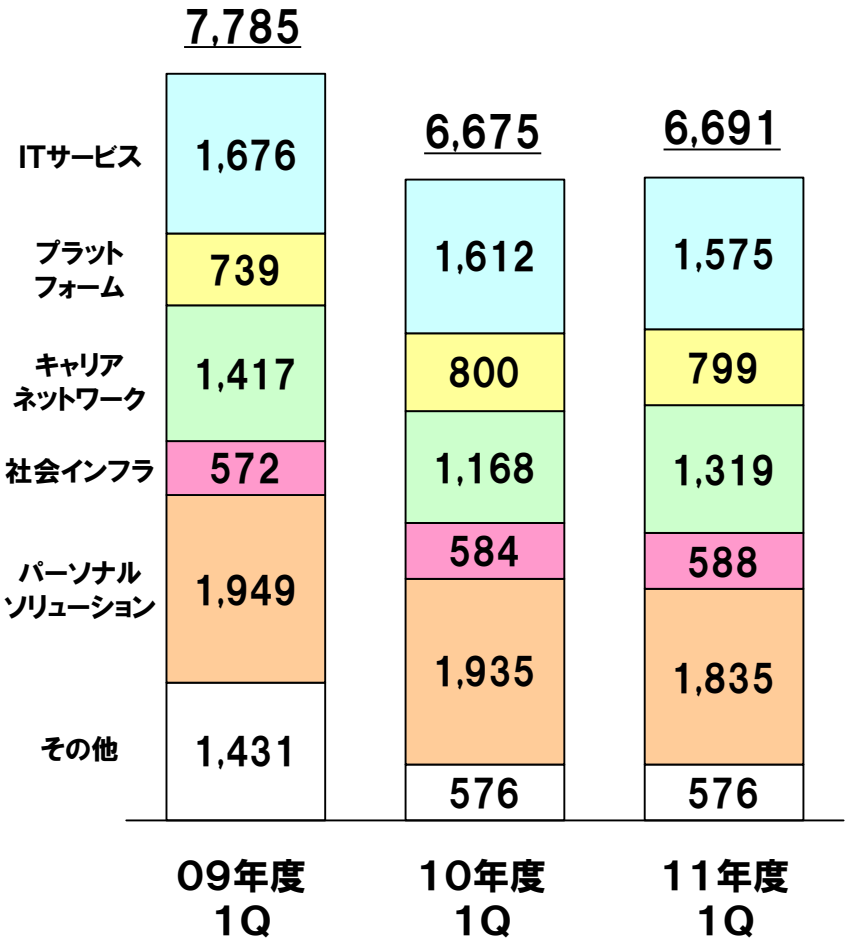
© NEC Corporation 2011

セグメント別 第1四半期実績

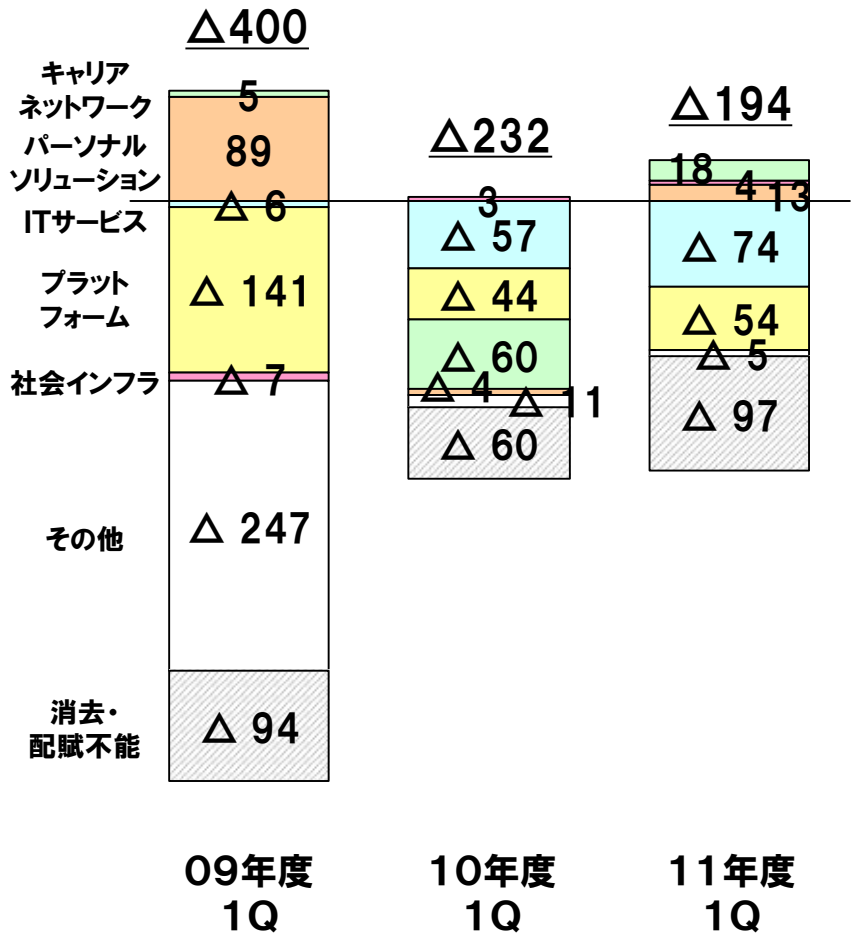
第1四半期

（億円）

売上高



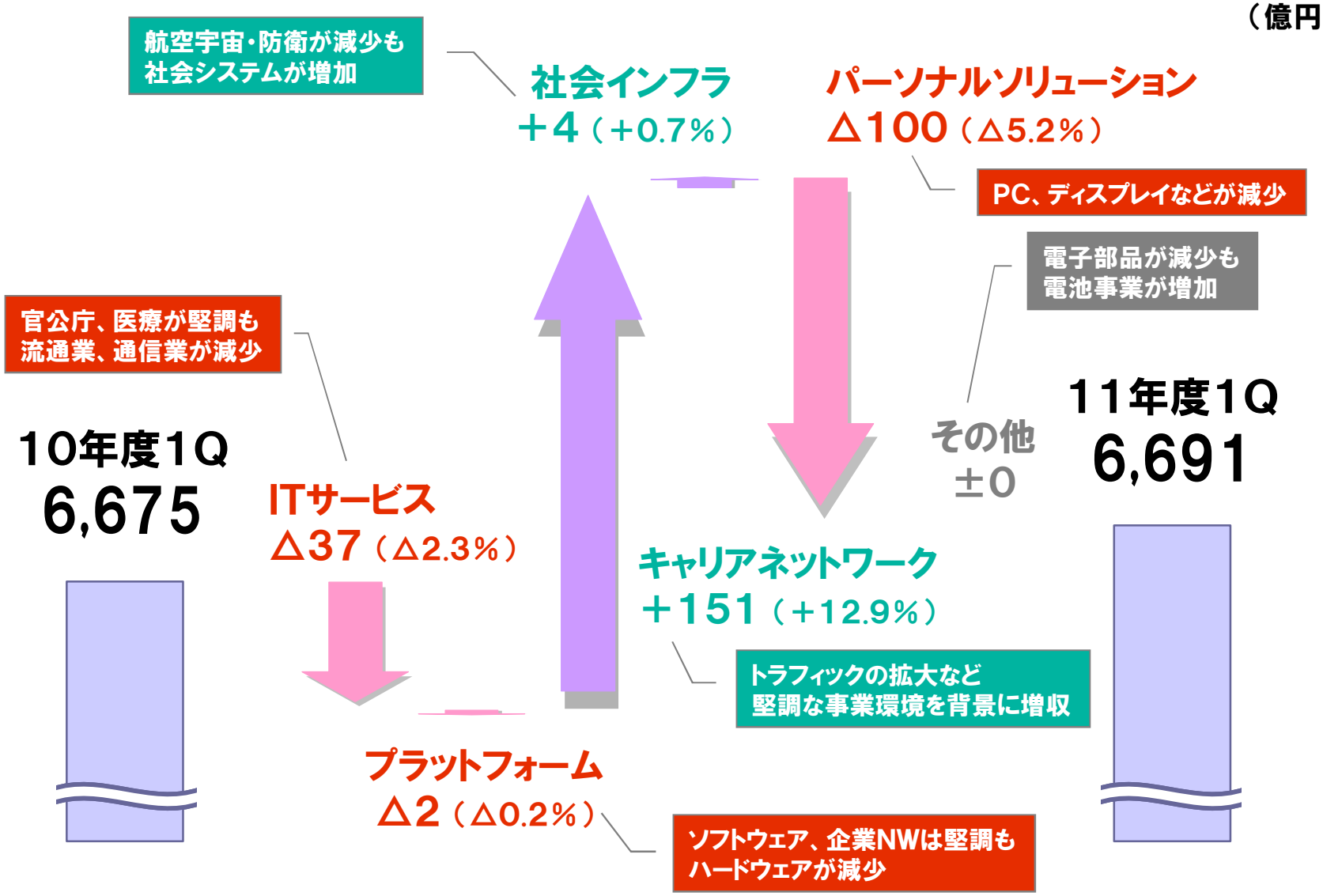
営業損益



© NEC Corporation 2011

売上高増減（前年同期比）

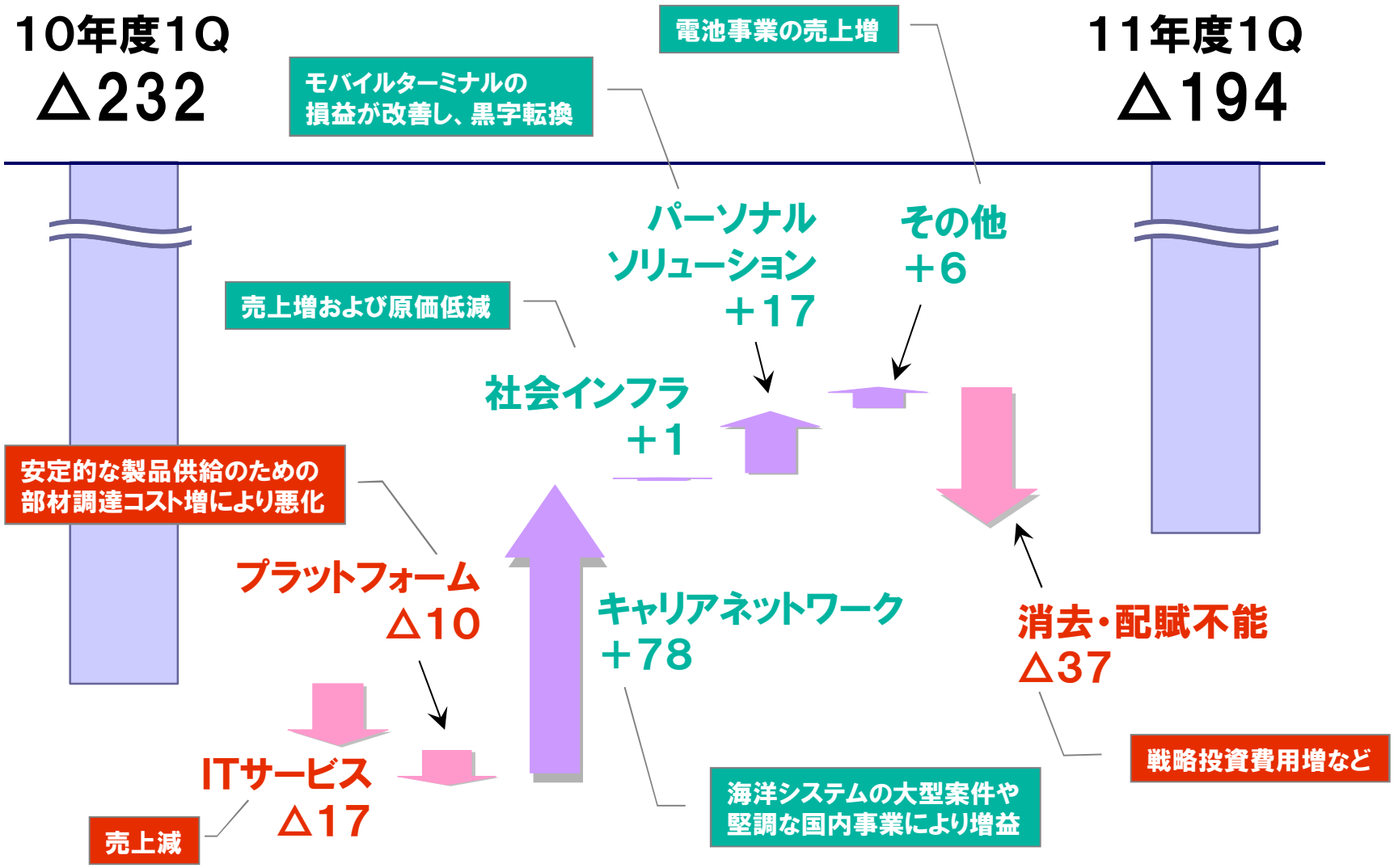
（億円）



© NEC Corporation 2011

営業損益増減（前年同期比）

（億円）



© NEC Corporation 2011

第１四半期

セグメント別 第１四半期実績のポイント（前年同期比）

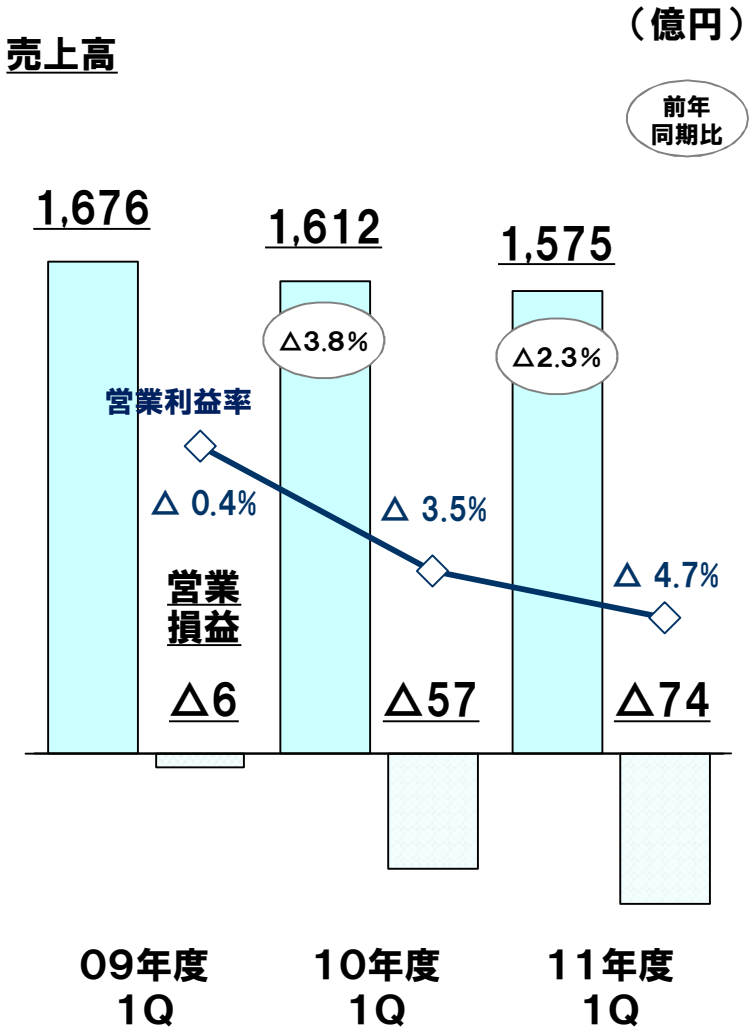
ITサービス	● 官公庁や医療向けは堅調も、流通業や通信業向けが減収 ● 売上減の影響を受け減益
プラットフォーム	● ソフトウェア、企業NWは堅調もハードウェアが減少し前年並み ● 安定的な製品供給のための部材調達コスト増により悪化
キャリアネットワーク	● トラフィックの拡大など堅調な事業環境を背景に増収 ● 海洋システムの大型案件や堅調な国内事業により増益 ✔
社会インフラ	● 航空宇宙・防衛が減少も社会システムが増加し前年並み ● 売上増および原価低減により増益
パーソナルソリューション	● PC、ディスプレイなどが減少し減収 ● モバイルターミナルの損益が改善し、黒字転換 ✔
その他	● 電子部品事業が減少も電池事業の増加などにより前年並み ● 電池事業の売上増などにより改善

※ 各セグメントの上段は売上高、下段は営業損益に関するポイント

© NEC Corporation 2011

ITサービス事業

第１四半期



売上高　1,575億円（△2.3%）

▽ 官公庁向けや医療機関向けが堅調に推移したものの、流通業や通信業向けが減収

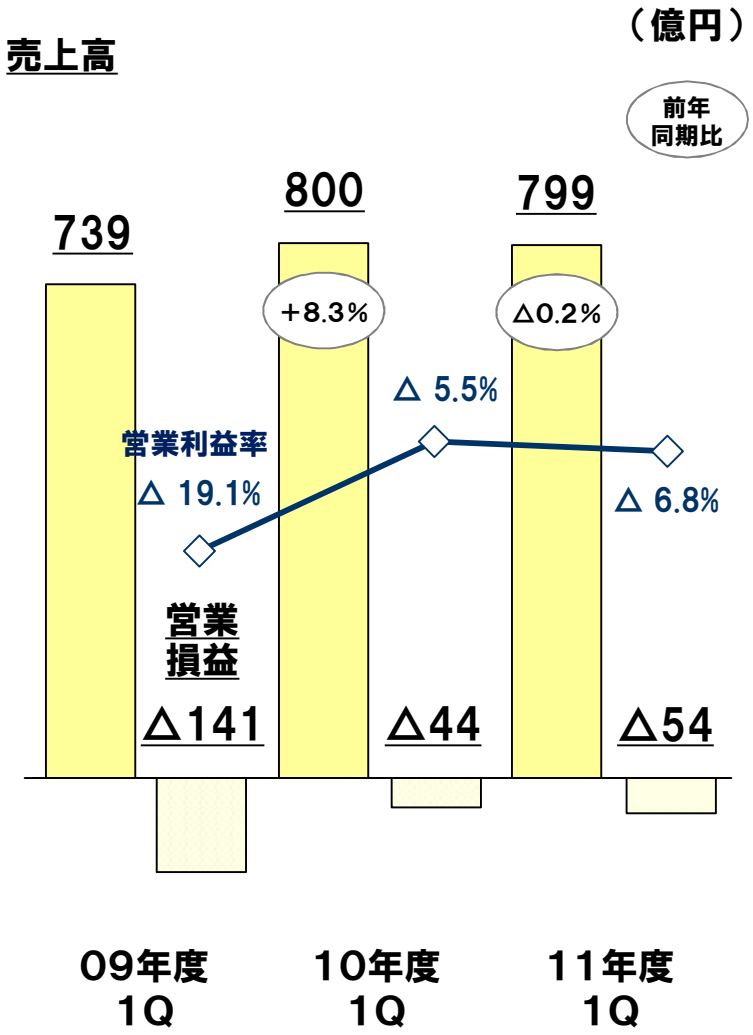
営業損益　△74億円（△17億円）

▽ 費用削減を進めるも、売上の減少により減益

© NEC Corporation 2011

プラットフォーム事業

第１四半期



売上高　799億円（△0.2%）

△ ソフトウェア：

データセンター需要が堅調に推移し、
サーバ統合・仮想化やクラウド基盤など
運用管理領域の伸長により増収

▽ ハードウェア：

データセンター需要は堅調に推移するも
大型案件の減少により減収

△ 企業ネットワーク：

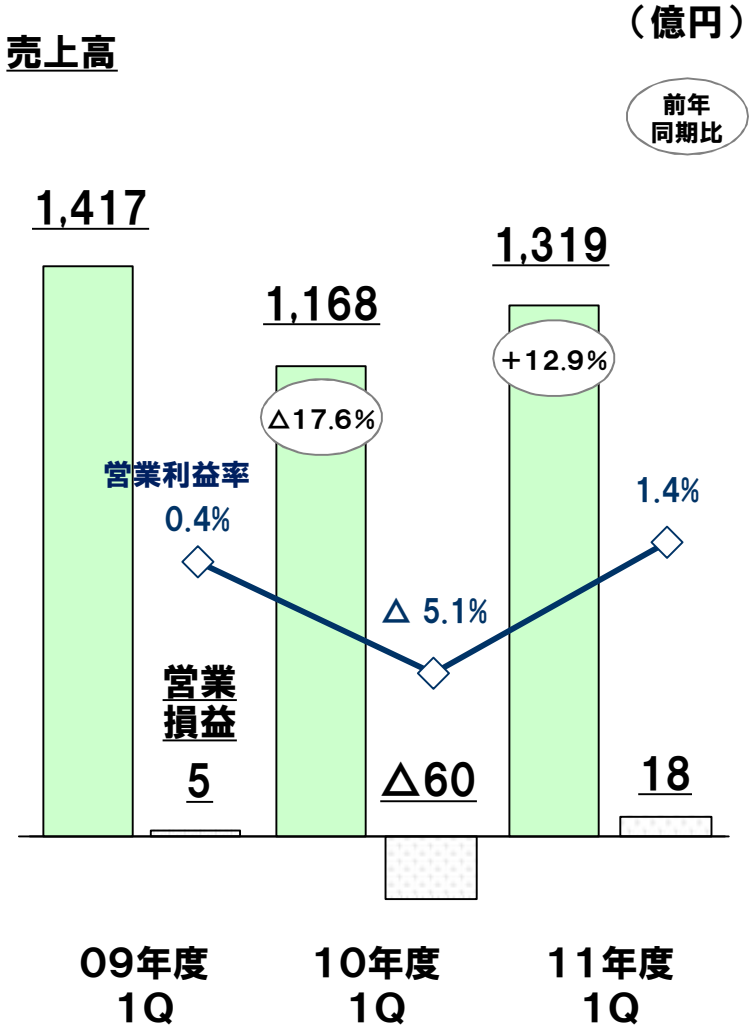
大型案件の獲得により増収

営業損益　△54億円（△10億円）

▽ 安定的な製品供給のための
部材調達コスト増により悪化

© NEC Corporation 2011

キャリアネットワーク事業



売上高　1,319億円（+12.9%）

△ 国内事業はLTEの立ち上がりや
CATV事業の補正予算案件対応により
売上が拡大

△ 海洋システムは大型プロジェクトの
遂行により増収

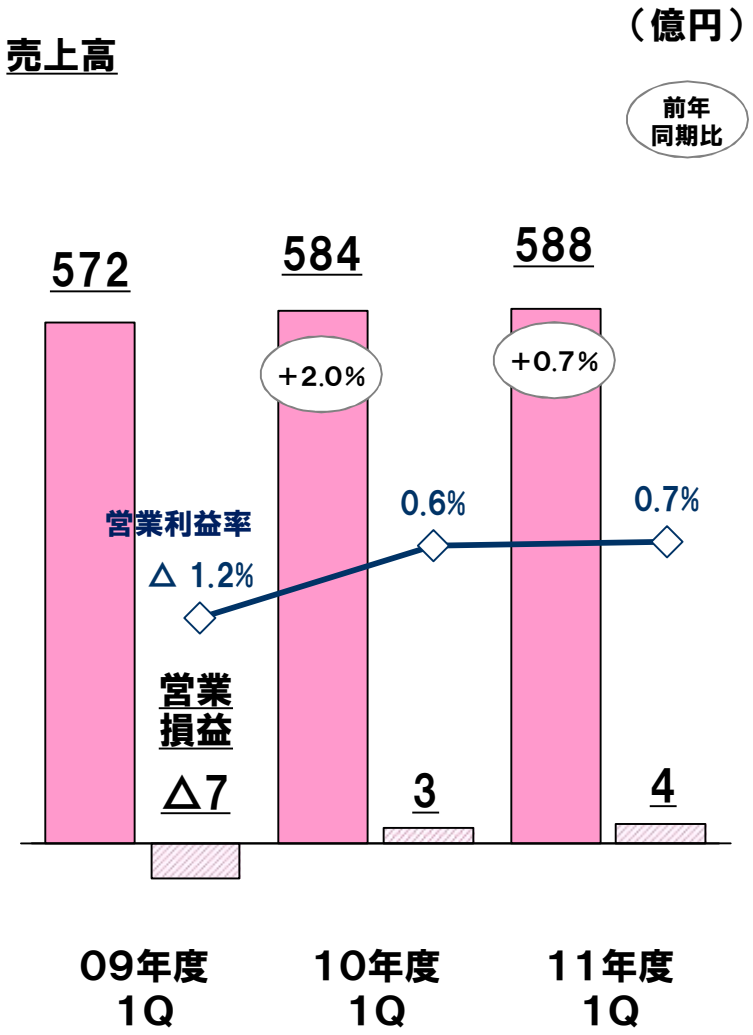
△ モバイルバックホール（パソリンク）は売上回復

営業損益　18億円（+78億円）

△ 国内事業の売上拡大、海洋システムの
回復により黒字転換

© NEC Corporation 2011

社会インフラ事業



売上高　588億円（+0.7%）

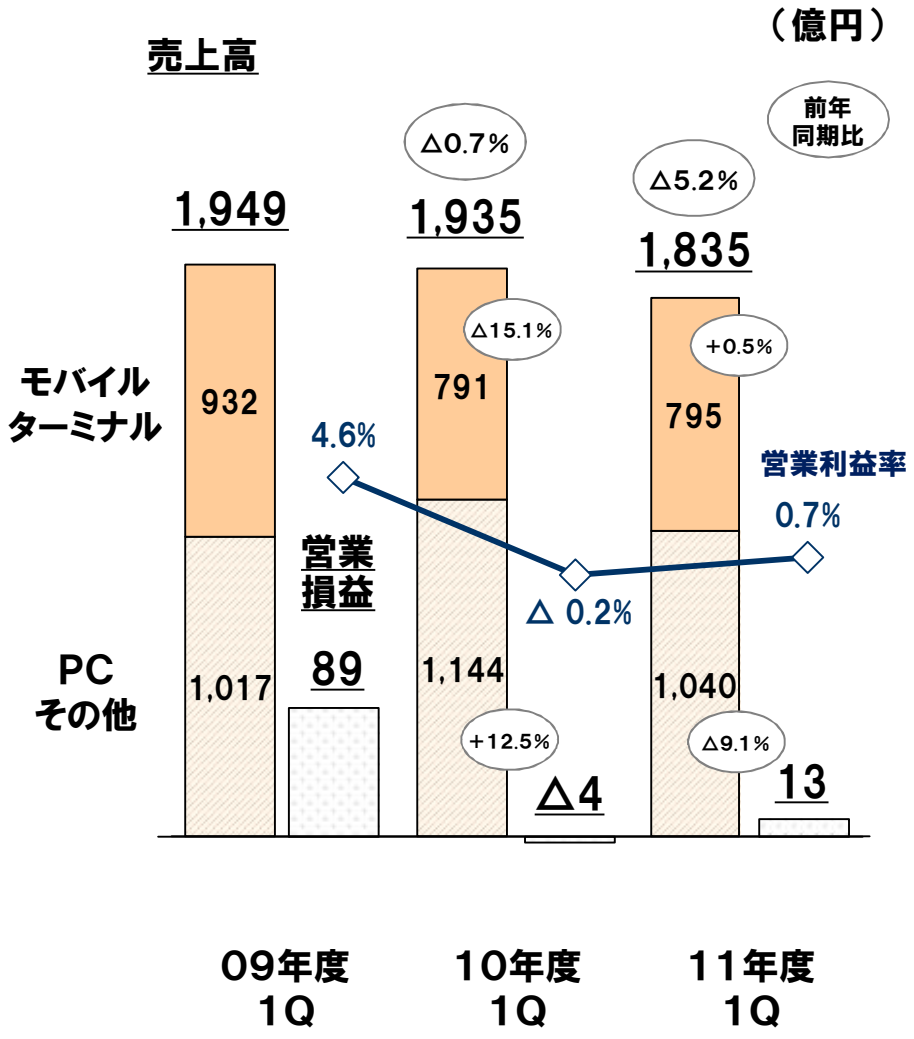
△ 航空宇宙・防衛システム分野が減少も、放送、消防・防災など社会システム分野が堅調に推移し、前年並み

営業利益　4億円（+1億円）

△ 売上の増加および原価低減が寄与し増益

© NEC Corporation 2011

パーソナルソリューション事業



売上高　1,835億円（△5.2%）

△ モバイルターミナル：
国内外でのスマートフォン本格展開により携帯電話の出荷台数が増えたものの、スマートフォンへのシフトに伴う単価下落により、売上高は前年並み

▽ PCその他：
ディスプレイの為替の影響や前年同期のデジタルシネマ需要の反動およびPCの単価下落などにより減収

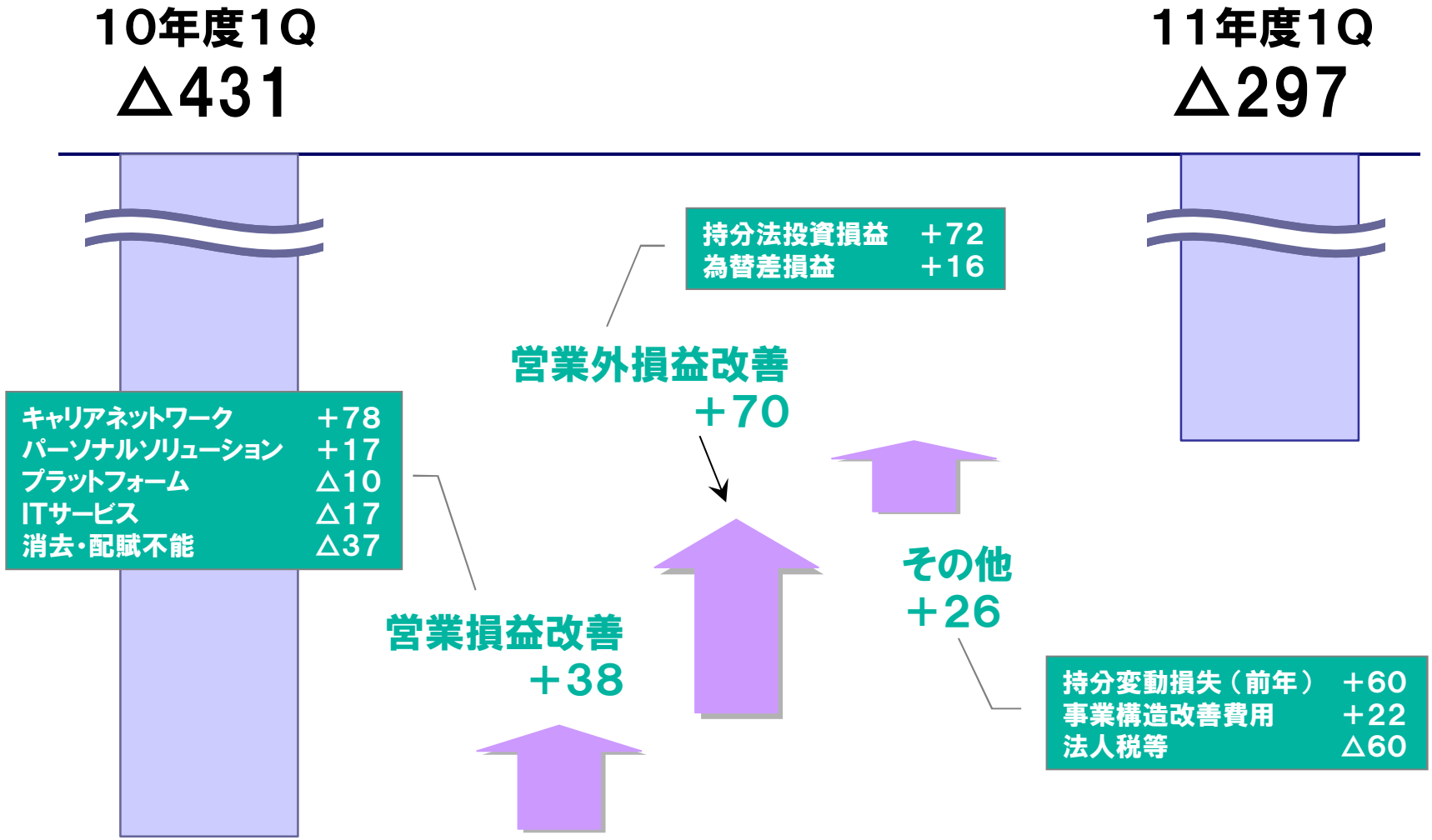
営業損益　13億円（+17億円）

△ 携帯電話の出荷台数増や開発費の効率化により、モバイルターミナルの損益が改善し、黒字転換

© NEC Corporation 2011

当期純損益増減（前年同期比）

（億円）



© NEC Corporation 2011

II. 上期業績予想サマリー

上期業績予想サマリー

（単位：億円）

	上期 <4～9月>			通期		
	10年度 実績	11年度 予想	前年 同期比	10年度 実績	11年度 予想（注）	前年度比
売上高	14,692	14,900	1.4%	31,154	33,000	5.9%
営業損益	11	0	△ 11	578	900	322
対売上高比率（%）	0.1%	0.0%		1.9%	2.7%	
経常損益	△ 223	△ 200	23	0	550	550
対売上高比率（%）	-	-		0.0%	1.7%	
当期純損益	△ 270	△ 150	120	△ 125	150	275
対売上高比率（%）	-	-		-	0.5%	
1株当たり当期純損益（円）	△ 10.42	△ 5.77	4.65	△ 4.82	5.77	10.59
フリーキャッシュフロー				△ 1,126	0	1,126

参考：11年度の為替レート前提　1ドル＝80円、1ユーロ＝110円

※ 予想値は、2011年7月28日現在（注：通期予想は、5月10日の前回予想から変更はありません）

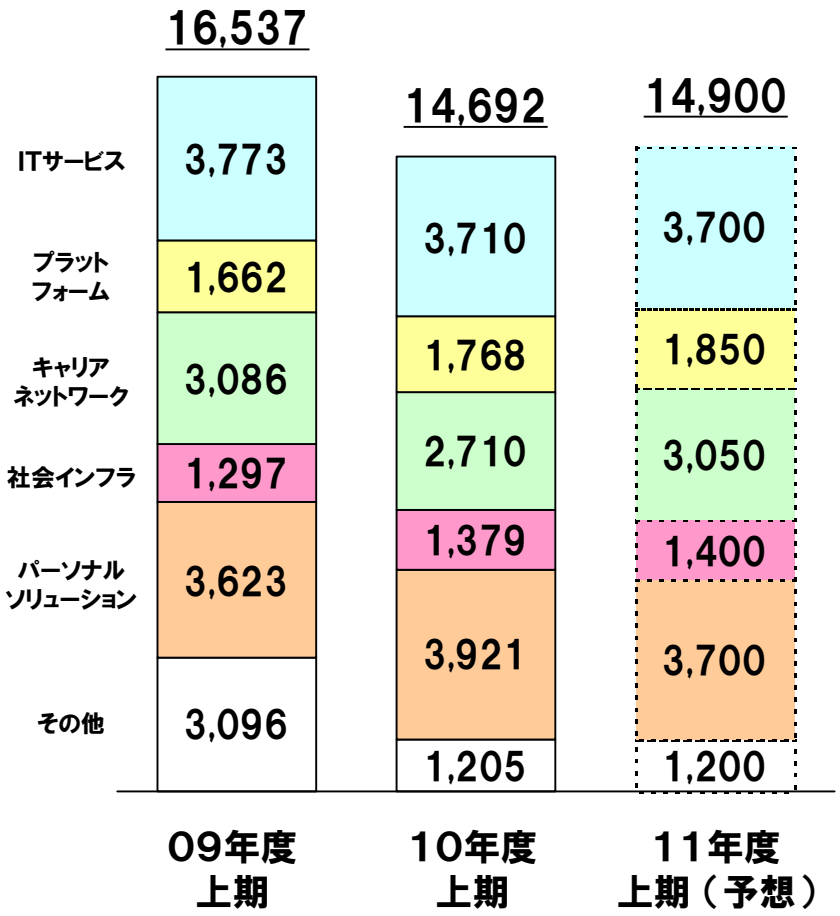
© NEC Corporation 2011

上期予想

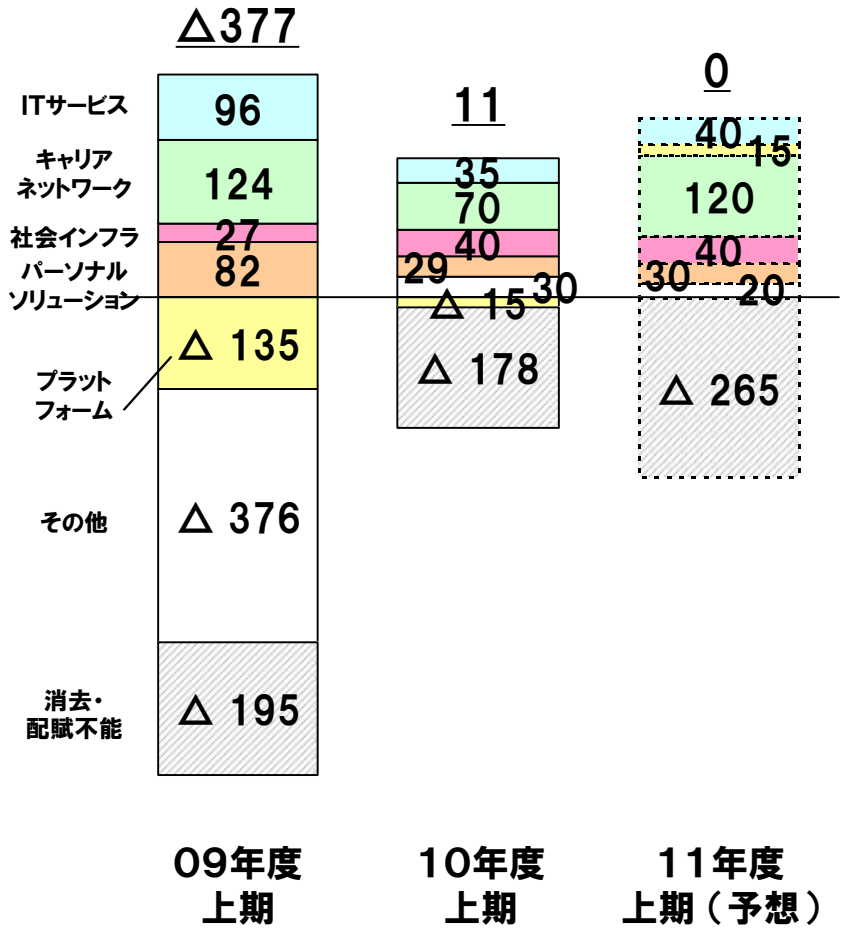
セグメント別 上期業績予想

（億円）

売上高



営業損益



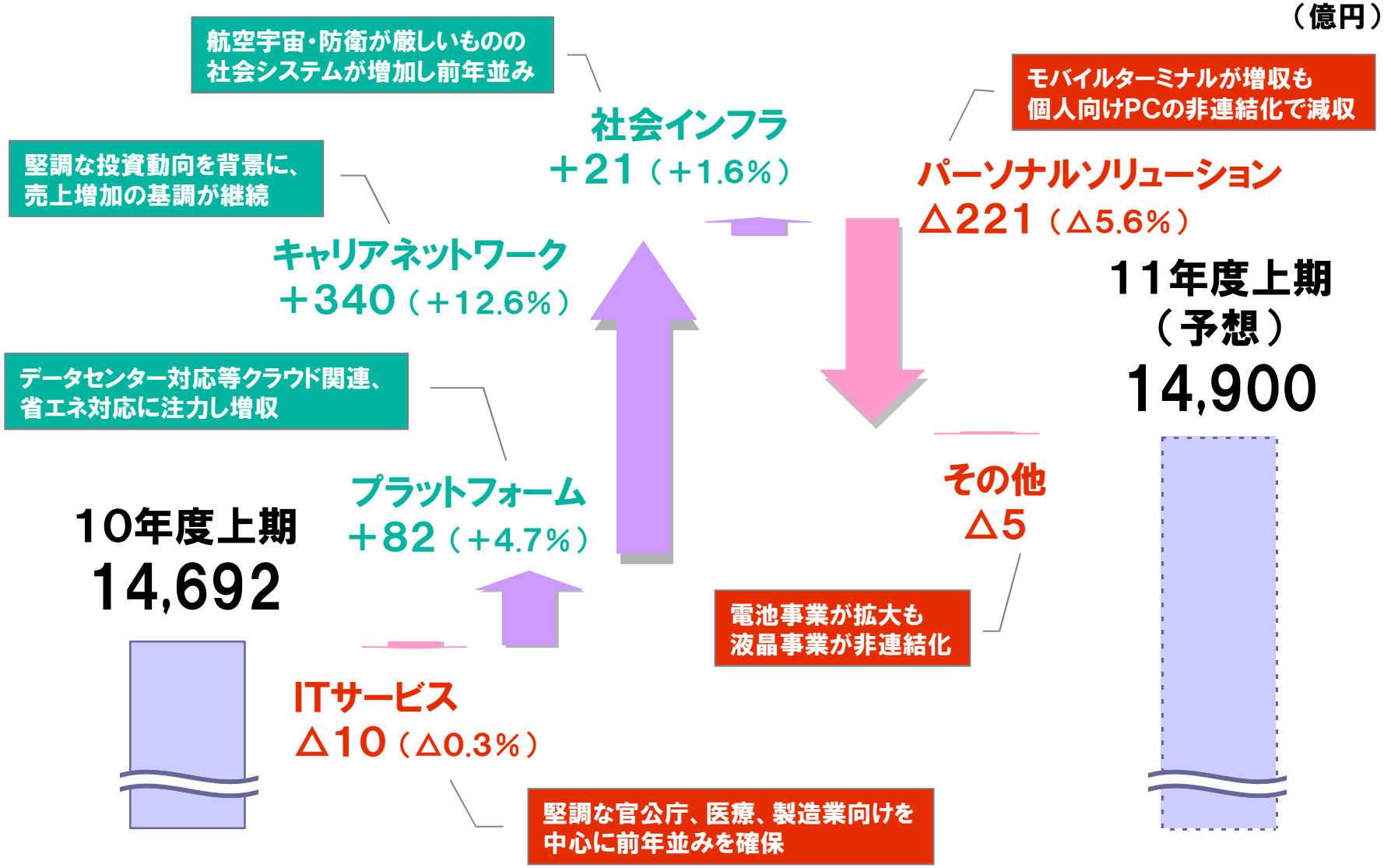
※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

上期予想

売上高増減（前年同期比）

（億円）



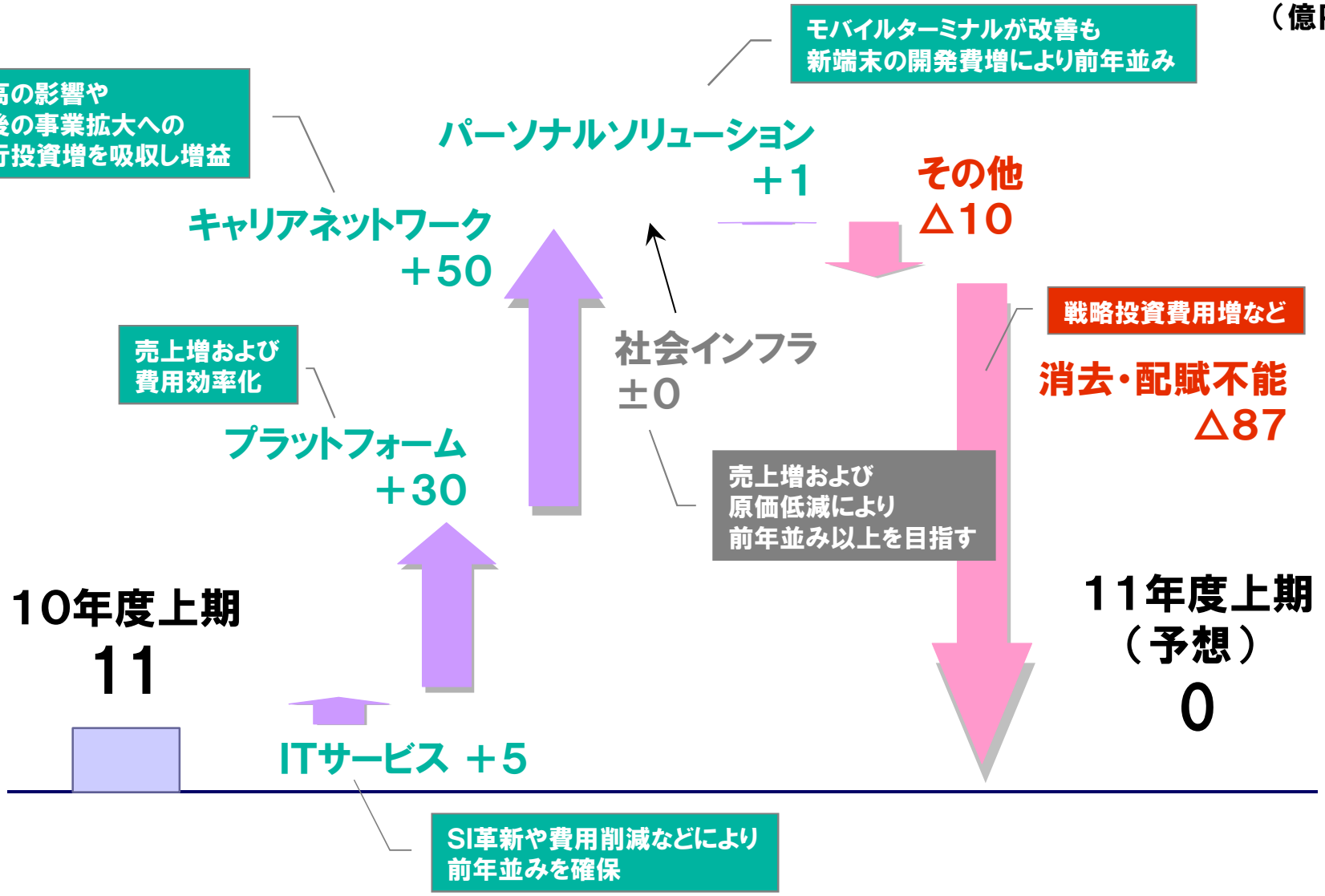
※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

上期予想

営業損益増減（前年同期比）

（億円）



※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

上期予想

セグメント別 上期業績予想のポイント（前年同期比）

ITサービス	● 堅調な官公庁、医療、製造業向けを中心に前年並みを確保 ● SI革新や費用削減などにより前年並みを確保
プラットフォーム	● データセンター対応等クラウド関連、省エネ対応に注力し増収 ● 売上増および費用効率化により増益
キャリアネットワーク	● 堅調な投資動向を背景に、売上増加の基調が継続 ● 円高の影響や今後の事業拡大への先行投資増を吸収し増益
社会インフラ	● 航空宇宙･防衛が厳しいものの社会システムが増加し前年並み ● 売上増および原価低減により前年並み以上を目指す
パーソナルソリューション	● モバイルターミナルが増収も個人向けPCの非連結化で減収 ● モバイルターミナルが改善も新端末の開発費増により前年並み
その他	● 電池事業が拡大も液晶事業の非連結化などに前年並み ● ほぼ前年並みを想定

※ 各セグメントの上段は売上高、下段は営業損益に関するポイント

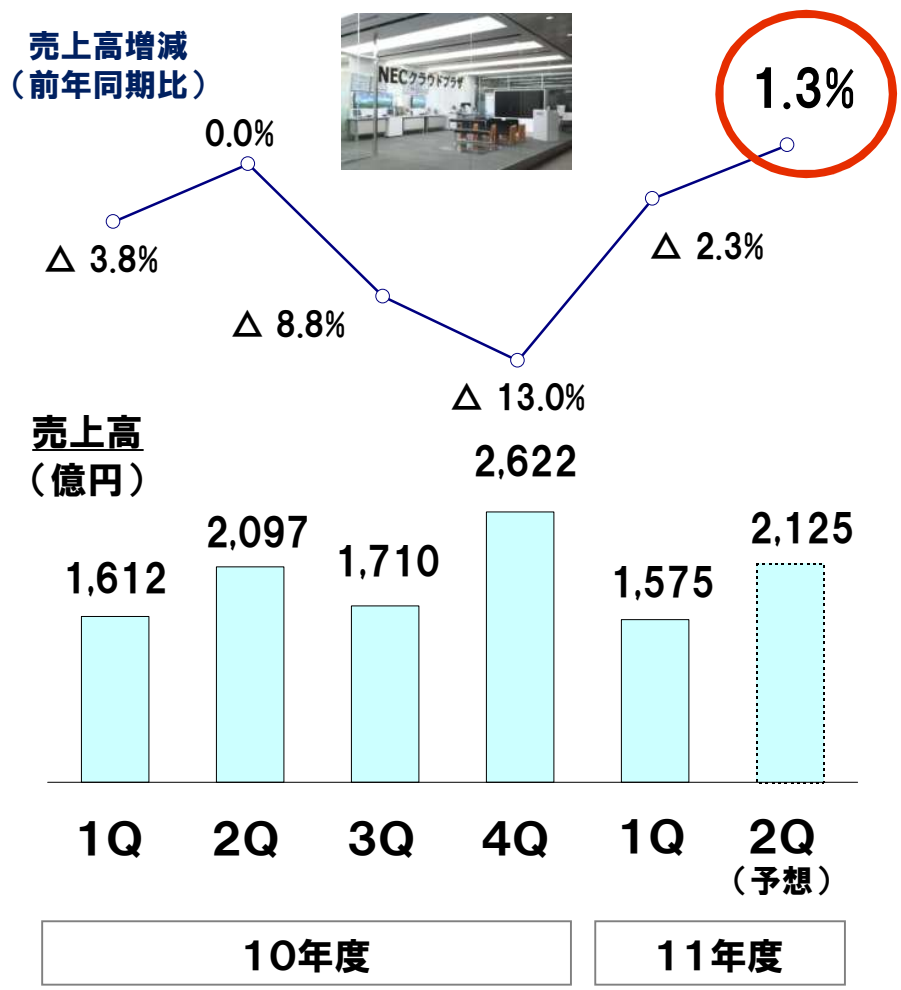
© NEC Corporation 2011

ITサービス事業の状況

上期予想

四半期別売上高推移

（億円）



国内IT投資の見通し

△ 国内IT投資は想定ほど震災の影響により落ち込まず

▷ 国内IT投資は下期から持ち直し来年度以降に本格回復と想定

受注状況

△ 官公庁向けや医療機関向け、製造業向けなどで堅調に推移

売上拡大に向けた取り組み

△ クラウドサービス／アウトソーシング事業

- NEC関西第二データセンターを新たに開設
- コンテンツ配信クラウドサービスの販売開始

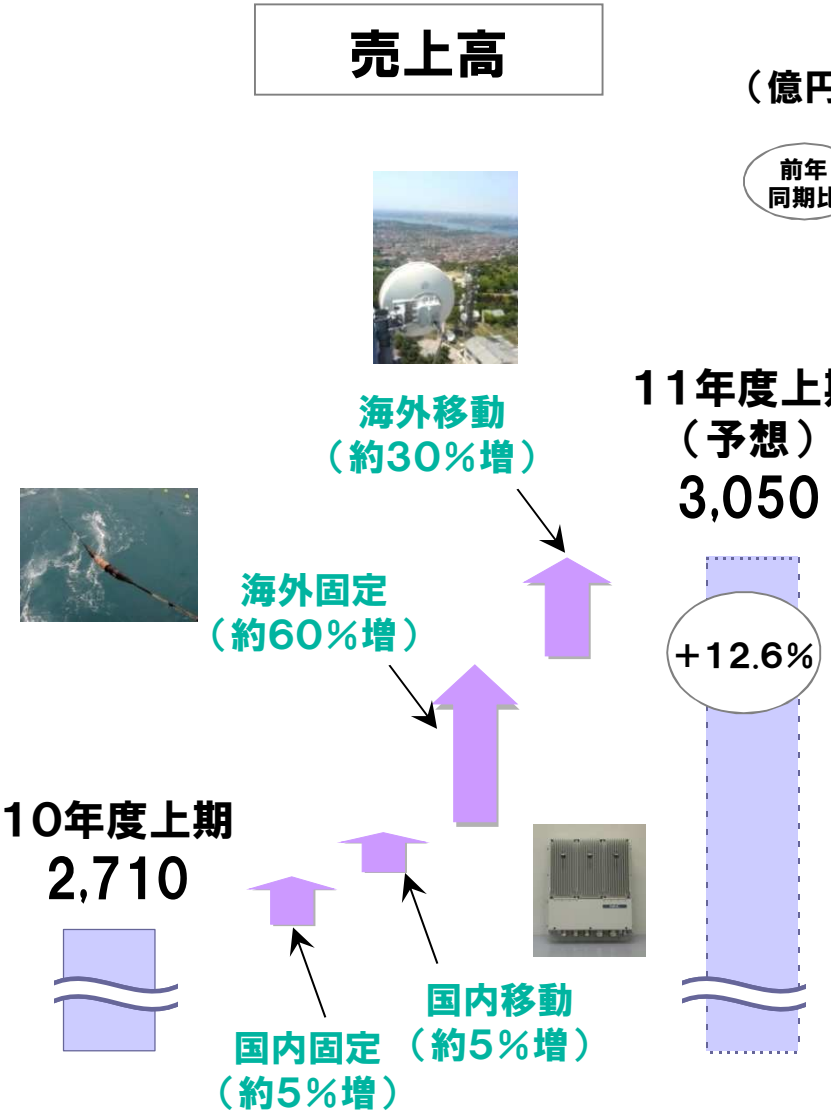
△ グローバル事業

- 日系企業対応強化に向け、中華圏・APACの体制を拡充
- 東軟集団との中国のクラウドサービス事業を推進する合弁会社にてサービス提供を開始

※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

キャリアネットワーク事業の状況



国内キャリアの投資動向

△ スマートフォンの急速な普及に伴う
トラフィック増を背景として堅調に推移

LTEの状況

△ 国内プロジェクトは期初計画どおり進行中

海洋システムの状況

△ 大型プロジェクトの確実な遂行による
増収を計画

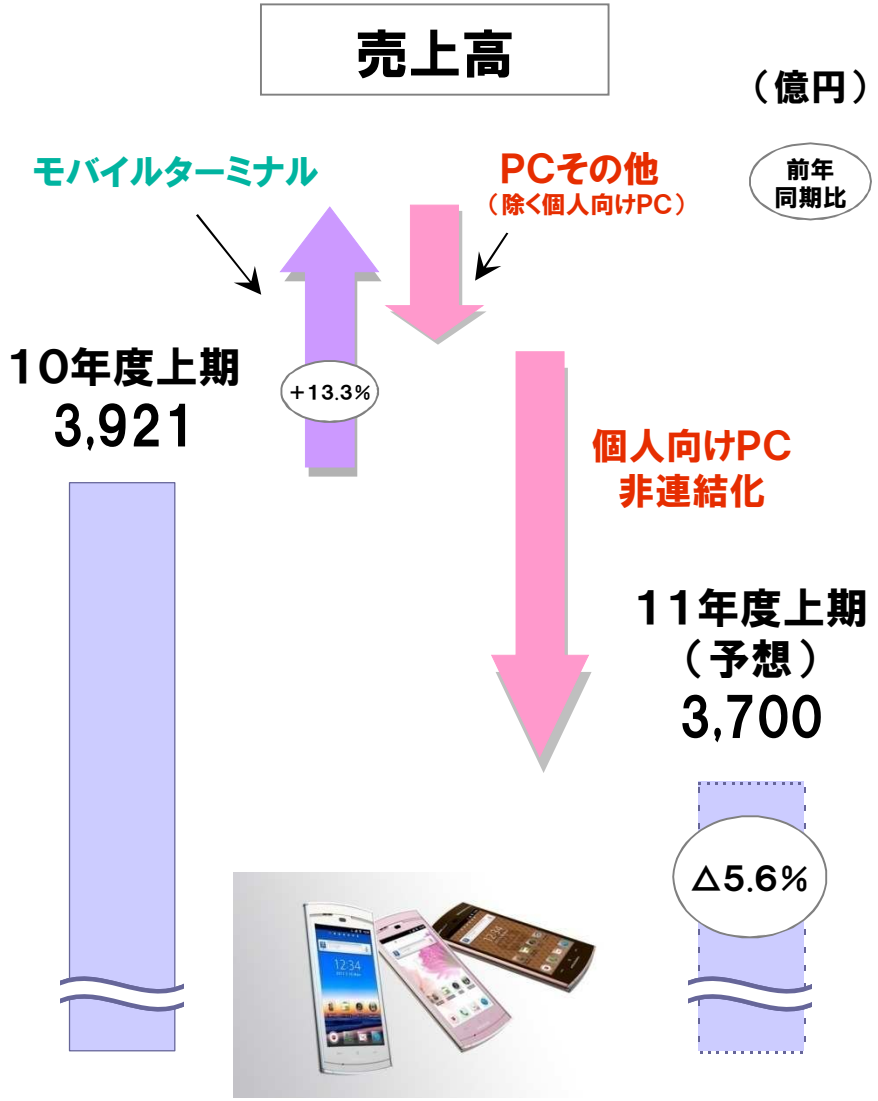
モバイルバックホール（パソリンク）の状況

△ ロシア・中近東・中南米等における
売上拡大を計画

※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

パーソナルソリューション事業の状況



モバイルターミナルの状況

△ 薄型・軽量化、タフネス技術を活用したスマートフォンを国内外で本格展開

- NTTドコモ
  『MEDIAS N-04C』（3月15日発売開始）
- 米国ベライゾンワイヤレス
  『CASIO G'zOne COMMANDO™』
  （4月28日発売開始）
- NTTドコモ
  『MEDIAS WP N-06C』（6月24日発売開始）
- KDDI、沖縄セルラー
  『G'zOne IS11CA』（7月14日発売開始）

PCその他の状況

▽ 個人向けPCの非連結化などで減収

損益の状況

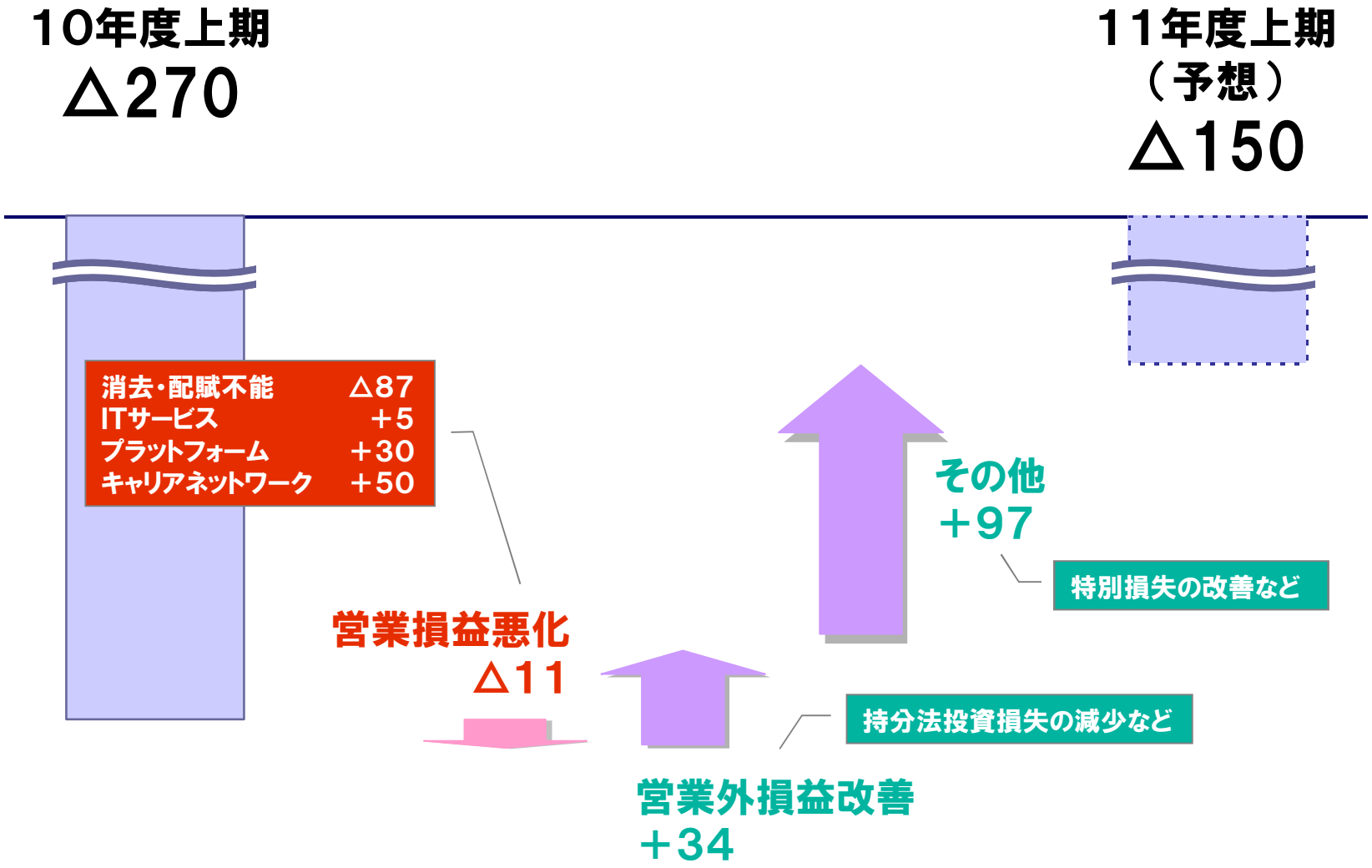
△ モバイルターミナルの損益が改善も新端末の開発費増で前年並み

※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

当期純損益増減（前年同期比）

（億円）



※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

まとめ

第１四半期実績

- 売上高は微増（前年同期比 ＋0.2％）
  - パーソナルソリューション、ITサービスが減収もキャリアネットワークが増収
- 営業損益は改善（前年同期比 ＋38億円）
  - キャリアネットワーク、パーソナルソリューションが黒字転換
- 会社計画比では、ほぼ想定どおり

上期業績予想

- 下期からの本格回復に向けて、増収・増益を目指す

上期・通期業績予想達成に向け、スピード経営を加速

© NEC Corporation 2011

Empowered by Innovation

NEC

決算概要（補足）

セグメント別 第1四半期実績サマリー

第1四半期

（億円）

売上高

その他
9%

ITサービス
23%

パーソナル
ソリューション
27%

2011年度
1Q売上高
6,691億円

社会インフラ
9%

キャリアネットワーク
20%

プラットフォーム
12%

営業損益

2011年度
1Q営業損益
△194億円

© NEC Corporation 2011

セグメント別 第１四半期実績サマリー

第１四半期

（単位：億円）

		第1四半期 <4～6月>		
		10年度 実績	11年度 実績	前年 同期比
ＩＴサービス	売上高	1,612	1,575	△ 2.3%
	営業損益	△ 57	△ 74	△ 17
	営業利益率（%）	-	-	
プラットフォーム	売上高	800	799	△ 0.2%
	営業損益	△ 44	△ 54	△ 10
	営業利益率（%）	-	-	
キャリアネットワーク	売上高	1,168	1,319	12.9%
	営業損益	△ 60	18	78
	営業利益率（%）	-	1.4%	
社会インフラ	売上高	584	588	0.7%
	営業利益	3	4	1
	営業利益率（%）	0.6%	0.7%	
パーソナルソリューション	売上高	1,935	1,835	△ 5.2%
	営業損益	△ 4	13	17
	営業利益率（%）	-	0.7%	
その他	売上高	576	576	0.0%
	営業損益	△ 11	△ 5	6
	営業利益率（%）	-	-	
消去・配賦不能	営業損益	△ 60	△ 97	△ 37
合計	売上高	6,675	6,691	0.2%
	営業損益	△ 232	△ 194	38
	営業利益率（%）	-	-	

© NEC Corporation 2011

海外売上高

（単位：億円）

		第1四半期 <4～6月>			
		10年度 実績	11年度 実績	前年 同期比	主な国または地域
アジア	売上高	382	310	△ 18.8%	中国、台湾、インド、シンガポール、インドネシア
	連結売上高比率（%）	5.7%	4.6%		
欧州	売上高	240	243	1.1%	イギリス、フランス、オランダ、ドイツ、イタリア、スペイン
	連結売上高比率（%）	3.6%	3.6%		
その他	売上高	520	598	15.0%	アメリカ
	連結売上高比率（%）	7.8%	8.9%		
合計	売上高	1,142	1,151	0.8%	
	連結売上高比率（%）	17.1%	17.2%		

※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

© NEC Corporation 2011

財政状態に関する経営指標

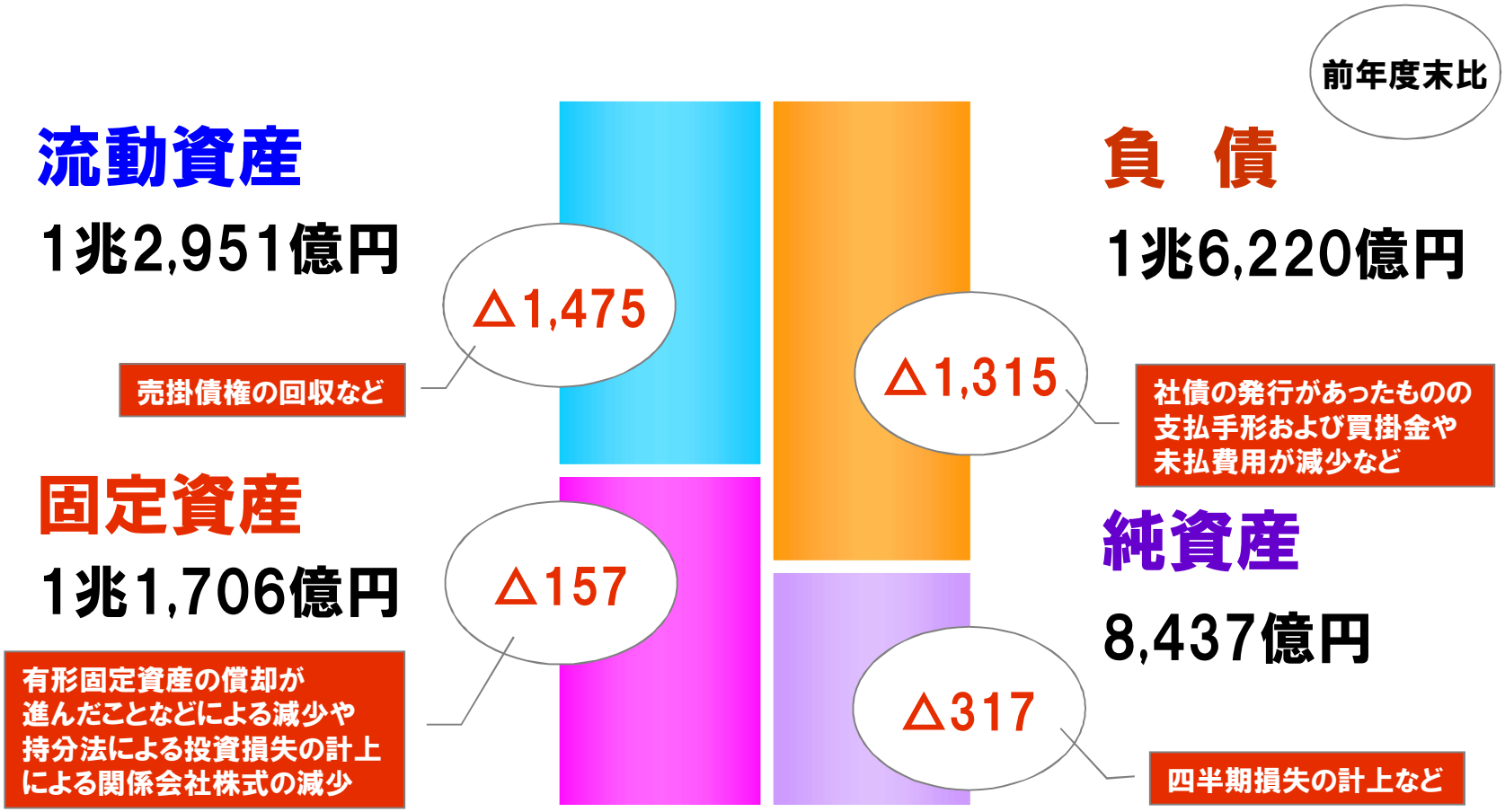
（単位：億円）

	11/3末	11/6末	11/3末比	10/6末
総　　資　　産	26,289	24,657	△ 1,632	25,108
純　　資　　産	8,754	8,437	△ 317	8,433
有利子負債残高	6,758	6,461	△ 297	6,231
自　己　資　本	7,571	7,263	△ 308	7,256
自己資本比率（％）	28.8%	29.5%	0.7pt	28.9%
D/Eレシオ（倍）	0.89	0.89	0.00pt	0.86
ネットD/Eレシオ（倍）	0.62	0.63	△ 0.01pt	0.55
現金及び現金同等物の期末残高	2,039	1,881	△ 158	2,271

© NEC Corporation 2011

《参考》貸借対照表の状況（11／6末）

総資産　2兆4,657億円（前年度末比 △1,632億円）



© NEC Corporation 2011

《参考》“C＆Cクラウド戦略の推進”の進捗

- アマタ工業団地（タイ）においてSaaS型のクラウドサービスを提供
- クックパッドに会計システムのクラウドサービスを提供
- 「コンテンツ配信クラウドサービス」を販売開始
- 東軟集団と中国のクラウドサービス事業を推進する合弁会社を設立
- 関西地区のクラウドサービス中核拠点としてNEC関西第二データセンターを新たに開設
- 三菱電機と生産管理システム分野のクラウドサービス事業で協業
- ジクー・データシステムズの事業を譲受
- M2Mサービスプラットフォームを開発
- 神奈川県下１１町村に財務会計システムをクラウドサービスで提供
- 場所や端末を選ばず安心・安全な仮想オフィス環境が実現できる「C＆Cクラウド・ワークスタイル」の試作システムを開発
- 倉敷市の玉島第一病院にSaaS型電子カルテサービス「MegaOakSR for SaaS」を提供

© NEC Corporation 2011

《参考》“グローバル事業の拡大”の進捗

- アマタ工業団地（タイ）においてSaaS型のクラウドサービスを提供
- インドネシアの大手コンビニエンスストア Alfamart（アルファマート）から最新のPOS端末「TWINPOS G5」を大型受注
- 東軟集団と中国のクラウドサービス事業を推進する合弁会社を設立
- マレーシアの郵便事業者に郵便自動化システムを納入

- スイスの国営郵便事業者に郵便自動化システムを追加納入
- クウェート最大の携帯電話事業者からフェムトセルシステムを受注
- フィリップスとデジタル病理画像診断支援システム分野で協業
- 日本と東南アジア諸国を結ぶ大型海底ケーブルプロジェクト「SJC」を受注
- モルジブの光海底ケーブルプロジェクトを一括受注
- ブラジルに中南米事業統括会社「NECラテンアメリカ」を設立

© NEC Corporation 2011

《参考》“新規事業”の取り組み

- スマートフォン新製品の発売
- ブックスタイルの新型端末
  クラウドコミュニケーター
  「LifeTouch（TM）W」
  の出荷開始

- 家庭用蓄電システムを販売開始
- HEMSアライアンスの立ち上げ
- ブラジルでスマートシティ開発プロジェクトに参画
- 明電舎・シャープとともに経済産業省平成22年度「インフラ・システム輸出促進調査等委託事業（グローバル市場におけるスマートコミュニティ等の事業可能性調査）」の委託先として採択
- イタリア大手電力会社と次世代スマートグリッドシステムの共同開発

© NEC Corporation 2011

《参考》主要な新製品・新ソリューション

（発表日）

- オフィスの消費電力を“見える化”し省エネを支援する「エネパル (R) Office」 を発売（7/7）
- 仮想PC型シンクライアントシステム「VirtualPCCenter」の新製品を発売（6/9）
- ネットワーク障害耐性の高い100ギガビット対応ノンブロッキング光クロスコネクト伝送装置を発売（6/8）
- 省電力サーバ/ストレージ新製品を発売 ～データセンタの消費電力を最大30%削減～（6/6）
- 性能を30%向上したスケーラブルHAサーバを発売 ～従来比約30%の省電力化も実現～（5/31）
- OPS準拠の制御モジュール並びに対応スロットを装備した業務用液晶ディスプレイを発売（5/26）

エネパル (R) Officeの画面イメージ

- 従来比1.2倍の性能向上と45%の低消費電力化を実現した基幹業務サーバ「パラレルACOS i-PX7300W」を発売（5/24）
- クラウド指向コラボレーティブウェア「StarOffice Xシリーズ V3」を発売 ～プライベートクラウドへの対応等を強化～（5/18）
- 省電力に貢献できる機能を充実させたビジネス向けPCを発売 ～Windows (R) 7搭載のスレートPCも9月提供開始～（5/11）

- IPv6対応ワイヤレスブロードバンドルータ「AtermWR8371N」を発売（6/7）
- 電力需要ピーク時間帯の電力消費を抑制する「ピークシフト設定ツール」を無償提供（5/27）
- 個人向けパソコン「LaVie」「VALUESTAR」のラインアップを一新（5/16）

VALUESTAR N

- 世界初 データ保持に電力が不要な連想メモリプロセッサを開発・実証 ～待機電力ゼロの電子機器実現に向けて～（6/13）
- 自然な抑揚やリズムで滑らかに文章を読み上げるテキスト音声合成技術を開発（6/7）
- セキュリティとプライバシーを両立する匿名認証をクラウド環境で実現する技術を開発（6/7）
- インターネットや携帯電話網の通信可能速度を推定できる技術を開発（6/3）
- 手のひらサイズの年齢・性別推定センサーを開発 ～自動販売機などに搭載し、マーケティングでの利用を実現～（5/31）
- 場所や端末を選ばず安心・安全な仮想オフィス環境が実現できる「C&Cクラウド・ワークスタイル」の試作システムを開発（4/21）
- NECと米国エアロジェット社、人工衛星向けイオンエンジンの動作試験を実施（4/8）

© NEC Corporation 2011

《参考》主要な広報発表（1/2）

（発表日）

［受注/納入など］

- 立命館大学で大学として最大規模のシンクライアントシステムを構築 ～約4,500台のシンクライアント端末を導入～（7/14）
- タイで最大規模のアマタ工業団地においてSaaS型のクラウドサービスを提供（7/11）
- 日本最大の料理サイトを運営するクックパッドに「EXPLANNER for SaaS（会計）」のクラウドサービスを提供（7/8）
- インドネシアの大手コンビニエンスストアから最新のPOS端末を大型受注（6/30）
- マルチメディア放送用の番組送出システムを株式会社mmbiから受注（6/30）
- マレーシアの郵便事業者に郵便自動化システムを納入（6/23）
- JAXAの準天頂衛星初号機「みちびき」測位信号の提供開始に貢献（6/22）
- ブラジルでスマートシティ開発プロジェクトに参画 ～スマートシティソリューションを新興国等で展開～（6/13）
- クウェート最大の携帯電話事業者からフェムトセルシステムを受注 ～クウェート初の商用フェムトセルサービス～（6/6）
- 神奈川県下11町村に財務会計システムをクラウドサービスで提供 ～「GPRIME for SaaS」を活用～（5/17）
- 倉敷市の玉島第一病院にSaaS型電子カルテサービス「MegaOakSR for SaaS」を提供（4/13）
- 日本と東南アジア諸国を結ぶ大型海底ケーブルプロジェクト「SJC（Southeast Asia-Japan Cable）」を受注（4/12）
- モルジブの光海底ケーブルプロジェクトを一括受注（4/7）

マレーシアの郵便事業者に
納入した郵便自動化システム

© NEC Corporation 2011

《参考》主要な広報発表（2/2）

第1四半期

（発表日）

［新事業など］

- 家庭用蓄電システムを販売開始 ～電力の「自動制御」と「見える化」を実現～（7/13）
- 「コンテンツ配信クラウドサービス」を販売開始（7/6）
- 関西地区のクラウドサービス中核拠点としてNEC関西第二データセンターを新たに開設（6/23）
- 三菱電機とNECが生産管理システム分野のクラウドサービス事業で協業
  ～FA制御機器とERPのクラウドサービス～（6/15）
- 環境情報マネジメントクラウドサービスを提供（6/10）
- ブックスタイルの新型端末クラウドコミュニケーター「LifeTouch（TM）W」を出荷開始（5/19）
- NECとフィリップスがデジタル病理画像診断支援システム分野で協業 ～北米・欧州で共同販売～（4/26）
- NECとイタリア大手電力会社が次世代スマートグリッドシステムの共同開発に合意（4/21）

家庭用蓄電システム

LifeTouch（TM）W

［経営、提携・新会社設立・事業再編など］

- 「NEC環境アニュアルレポート2011」発行（7/7）
- 日本最大のパソコン事業グループ「NEC レノボ・ジャパン グループ」が発足（7/4）
- NECと東軟集団が中国のクラウドサービス事業を推進する合弁会社を設立 ～SaaSメニューの提供を開始～（6/27）
- 無担保普通社債を発行（6/14）
- コーポレート・ガバナンスの強化と役員の異動 ～取締役会のスリム化およびチーフオフィサーの導入など～（4/28）
- ブラジルに中南米事業統括会社「NECラテンアメリカ」を設立 ～グローバル5極体制を確立～（4/14）
- 通信機器の生産子会社3社を統合 ～新会社「NECネットワークプロダクツ」を設立～（4/1）

© NEC Corporation 2011

業績予想（補足）

業績予想サマリー

上期予想

（単位：億円）

	第2四半期 <7～9月>			上期 <4～9月>		
	10年度 実績	11年度 予想	前年同期比	10年度 実績	11年度 予想	前年同期比
売上高	8,016	8,209	2.4%	14,692	14,900	1.4%
営業損益	243	194	△ 49	11	0	△ 11
対売上高比率（%）	3.0%	2.4%		0.1%	0.0%	
経常損益	182	96	△ 85	△ 223	△ 200	23
対売上高比率（%）	2.3%	1.2%		-	-	
当期純損益	161	147	△ 14	△ 270	△ 150	120
対売上高比率（%）	2.0%	1.8%		-	-	
1株当たり当期純損益（円）				△ 10.42	△ 5.77	4.65

参考：11年度の為替レート前提　1ドル＝80円、1ユーロ＝110円

※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

セグメント別 業績予想サマリー

上期予想

（単位：億円）

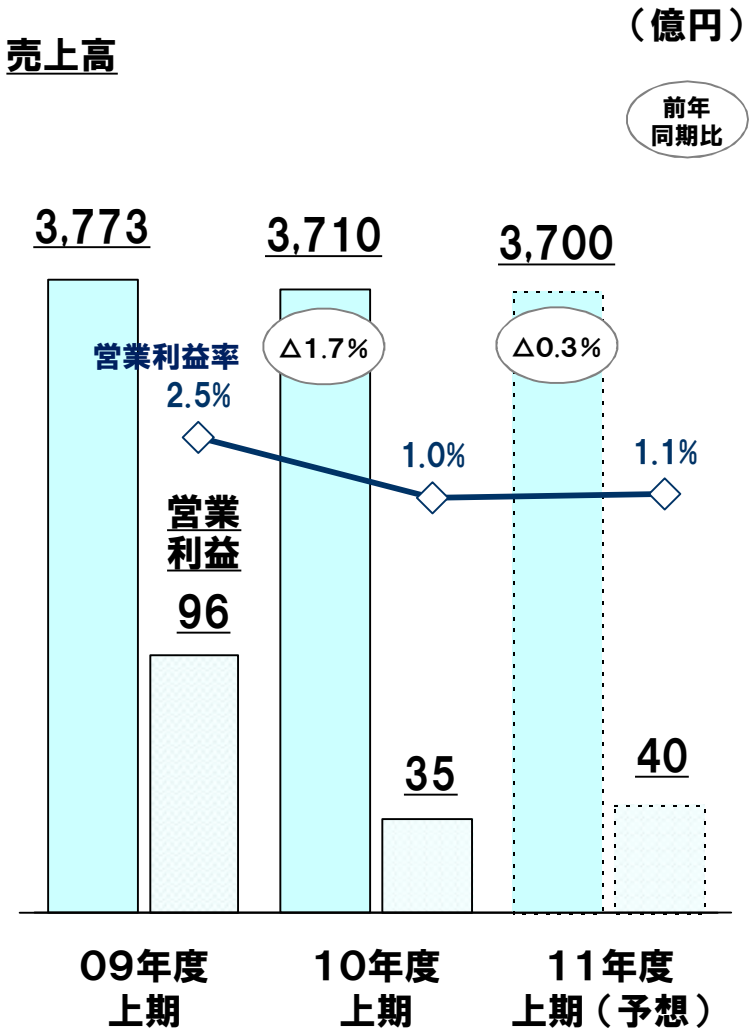
		第2四半期 <7～9月>			上期 <4～9月>		
		10年度 実績	11年度 予想	前年 同期比	10年度 実績	11年度 予想	前年 同期比
ＩＴサービス	売上高	2,097	2,125	1.3%	3,710	3,700	△ 0.3%
	営業利益	92	114	21	35	40	5
	営業利益率（%）	4.4%	5.4%		1.0%	1.1%	
プラットフォーム	売上高	967	1,051	8.7%	1,768	1,850	4.7%
	営業損益	29	69	41	△ 15	15	30
	営業利益率（%）	3.0%	6.6%		-	0.8%	
キャリアネットワーク	売上高	1,542	1,731	12.3%	2,710	3,050	12.6%
	営業利益	130	102	△ 28	70	120	50
	営業利益率（%）	8.4%	5.9%		2.6%	3.9%	
社会インフラ	売上高	795	812	2.2%	1,379	1,400	1.6%
	営業利益	37	36	△ 1	40	40	0
	営業利益率（%）	4.6%	4.4%		2.9%	2.9%	
パーソナルソリューション	売上高	1,985	1,865	△ 6.1%	3,921	3,700	△ 5.6%
	営業利益	33	17	△ 16	29	30	1
	営業利益率（%）	1.6%	0.9%		0.7%	0.8%	
その他	売上高	630	625	△ 0.8%	1,205	1,200	△ 0.4%
	営業利益	42	25	△ 17	30	20	△ 10
	営業利益率（%）	6.6%	4.0%		2.5%	1.7%	
消去・配賦不能	営業損益	△ 119	△ 168	△ 49	△ 178	△ 265	△ 87
合計	売上高	8,016	8,209	2.4%	14,692	14,900	1.4%
	営業損益	243	194	△ 49	11	0	△ 11
	営業利益率（%）	3.0%	2.4%		0.1%	0.0%	

※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

ITサービス事業

上期予想



売上高　3,700億円（△0.3%）

▷ 足元の受注が堅調な官公庁向けや医療機関向け、製造業向けなどで売上拡大を図り、2Qで増収、上期で前年並みを確保

△ 顧客の事業拡大や業務効率化に向けた提案に加え、災害対策の観点でのソリューション提案の強化やグローバル事業の拡大に注力

営業利益　40億円（＋5億円）

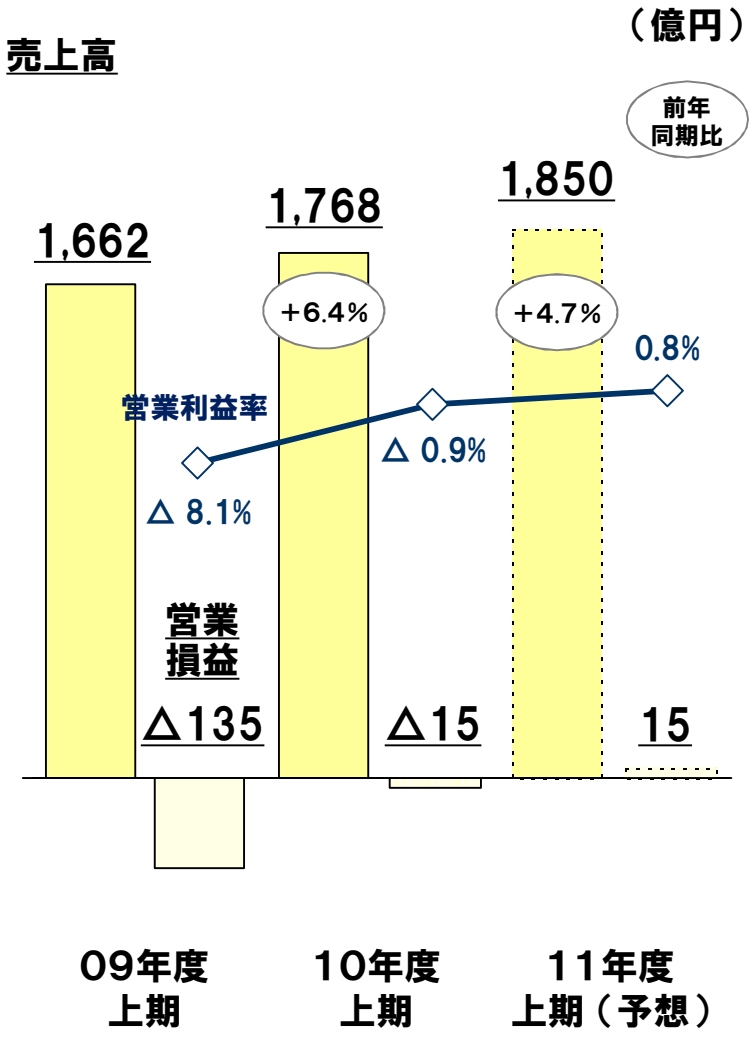
△ SI革新の推進や費用削減の徹底などにより前年並みを確保

※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

プラットフォーム事業

上期予想



売上高　1,850億円（+4.7%）

△ ソフトウェア：

BCP対応なども含め、データセンターでの仮想化、クラウド基盤などの伸長による増収を見込む

△ ハードウェア：

データセンターにおける需要への継続的な対応ならびに省エネニーズに対応する製品に注力し増収を目指す

△ 企業ネットワーク：

省エネやワークスタイル革新に対応したオフィスソリューションを国内外へ展開し増収を目指す

営業損益　15億円（+30億円）

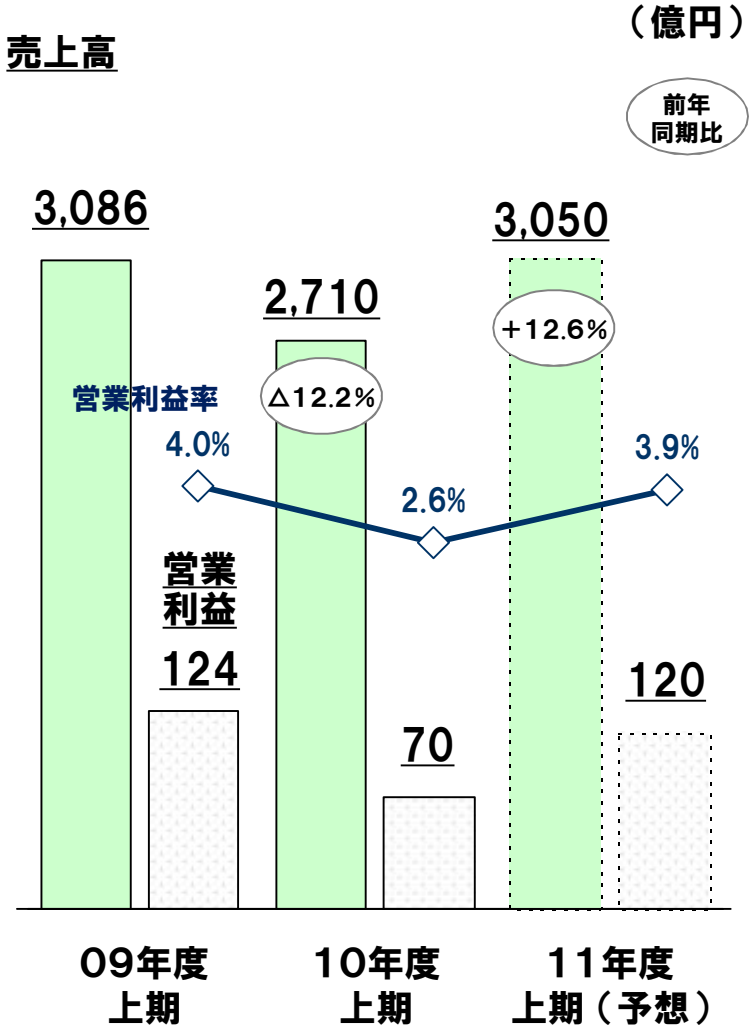
△ 売上の増加と費用効率化により増益を見込む

※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

キャリアネットワーク事業

上期予想



売上高　3,050億円（+12.6%）

△ 国内事業はLTEやサービスプラットフォームの売上拡大に注力

△ 海外事業は、海洋システムでの大型プロジェクトの確実な遂行とモバイルバックホール（パソリンク）の拡大による増収を目指す

営業利益　120億円（+50億円）

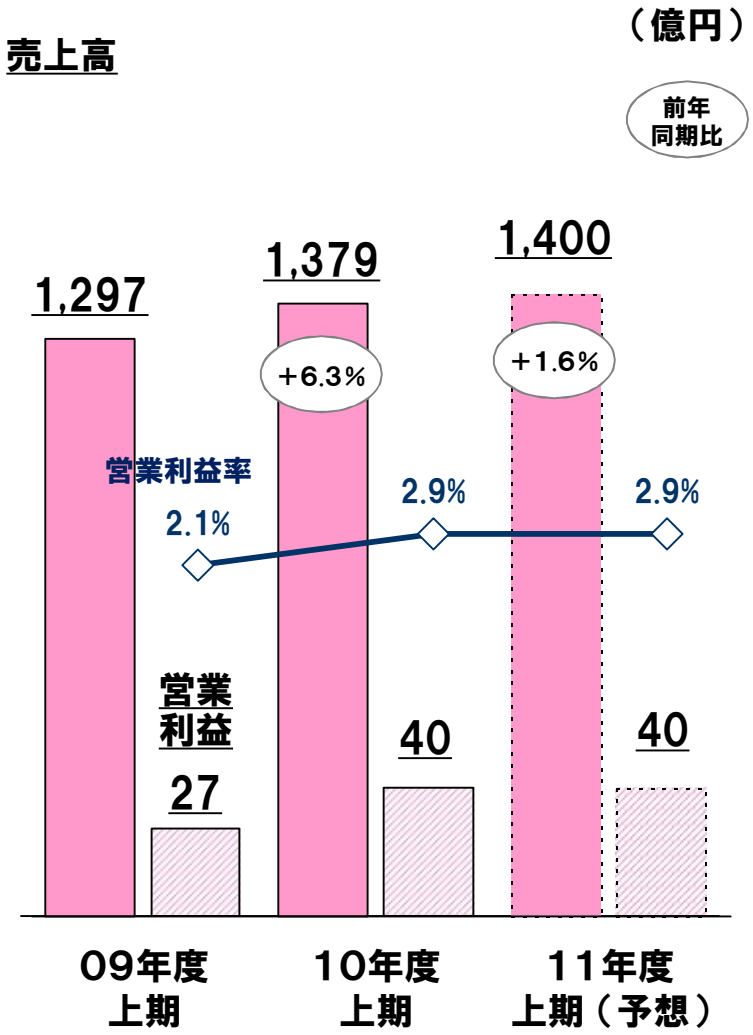
△ 円高の影響はあるものの、トラフィックの増加がもたらす事業機会の獲得や、海洋システムの売上拡大による増益を計画

※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

社会インフラ事業

上期予想



売上高　1,400億円（+1.6%）

△ 航空宇宙・防衛システム分野が厳しいものの、放送、消防・防災など社会システム分野の増加により前年並みを見込む

営業利益　40億円（±0億円）

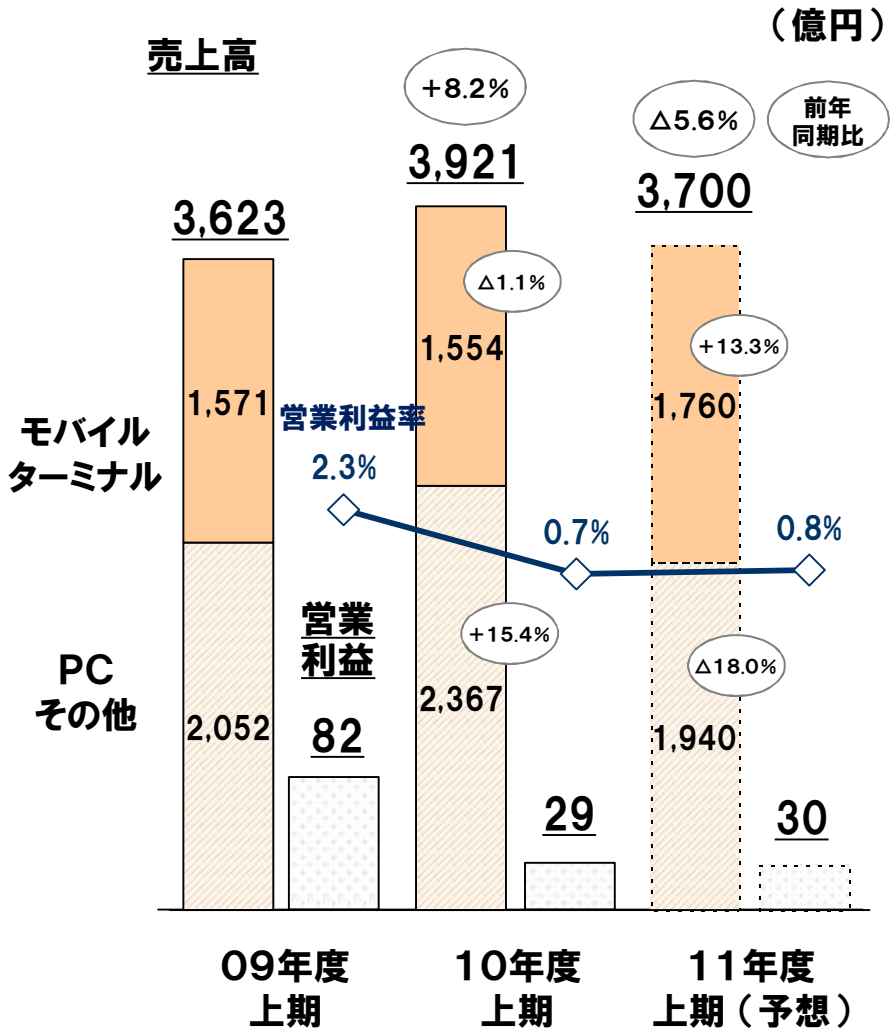
△ 売上の増加および原価低減により前年並み以上を目指す

※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

パーソナルソリューション事業

上期予想



売上高　3,700億円（△5.6%）

△ モバイルターミナル：

国内外のスマートフォンを中心とした出荷台数増による増収を見込む

▽ PCその他：

個人向けPCの非連結化などに伴い減収

営業利益　30億円（＋1億円）

△ スマートフォンの出荷台数増により、モバイルターミナルの損益が改善するものの、新端末のシリーズ充実のための開発費増により、前年並み

※ 予想値は、2011年7月28日現在

© NEC Corporation 2011

設備投資額・減価償却費・研究開発費

（単位：億円）

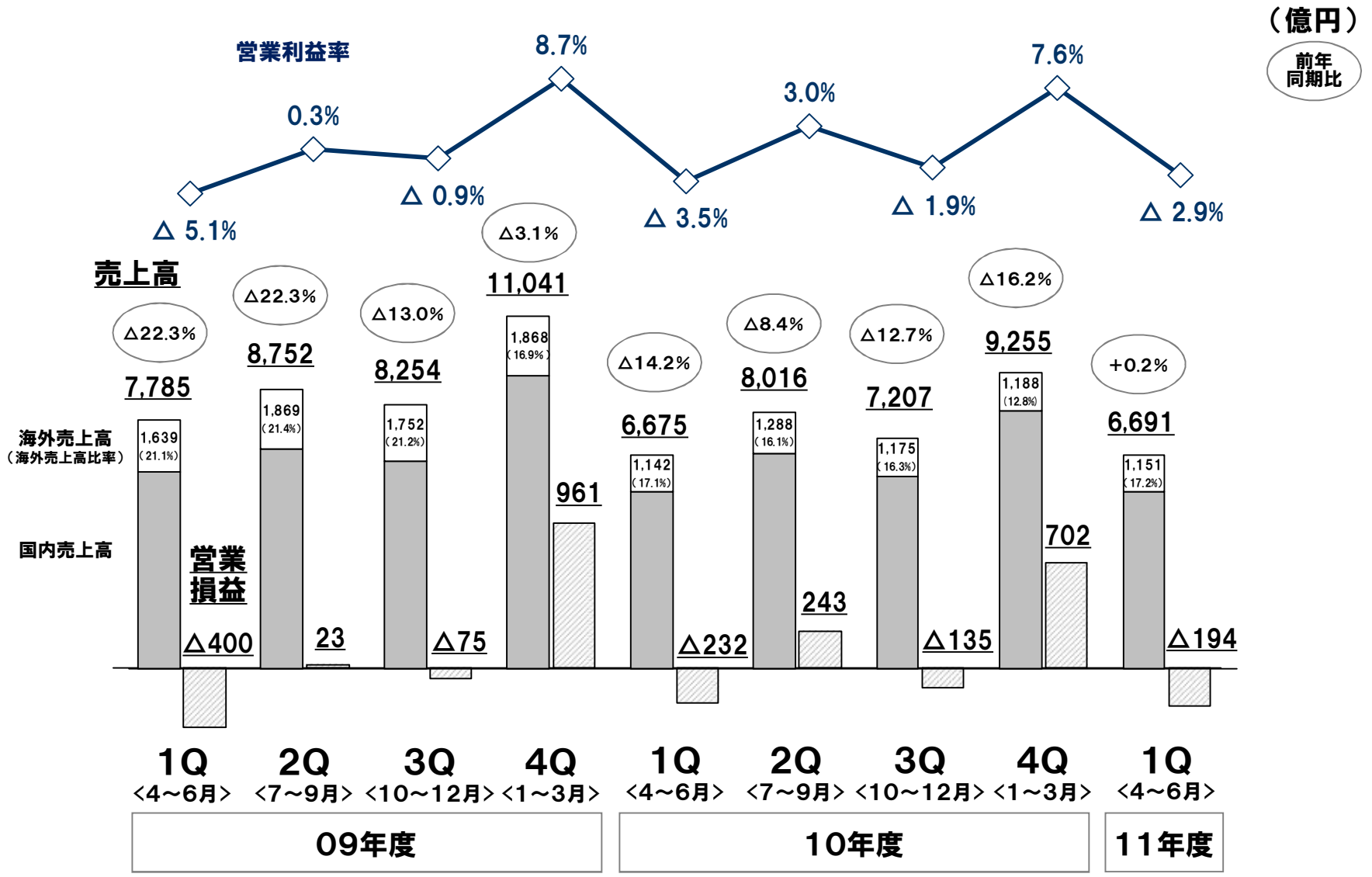
	10年度 実績	11年度 予想（注）	前年度比
設備投資額	529	800	51.4%
減価償却費	621	650	4.7%
研究開発費	1,765	1,850	4.8%
連結売上高比率	5.7%	5.6%	

注：通期予想は、5月10日の前回予想から変更はありません

© NEC Corporation 2011

参考資料（業績データ）

全社売上高・営業損益推移



© NEC Corporation 2011

ITサービス事業 売上高・営業損益推移

（億円）

前年同期比

営業利益率

	1Q <4～6月>	2Q <7～9月>	3Q <10～12月>	4Q <1～3月>	1Q <4～6月>	2Q <7～9月>	3Q <10～12月>	4Q <1～3月>	1Q <4～6月>
営業利益率	△0.4%	4.8%	1.8%	13.3%	△3.5%	4.4%	△3.9%	9.3%	△4.7%
売上高	1,676	2,098	1,876	3,015	1,612	2,097	1,710	2,622	1,575
前年同期比	△7.7%	△10.8%	△1.4%	△7.7%	△3.8%	0.0%	△8.8%	△13.0%	△2.3%
営業損益	△6	102	34	402	△57	92	△66	245	△74

09年度　10年度　11年度

© NEC Corporation 2011

プラットフォーム事業 売上高・営業損益推移

（億円）

前年同期比

営業利益率

△ 19.1%　0.7%　△ 0.3%　10.0%　△ 5.5%　3.0%　△ 2.4%　10.7%　△ 6.8%

	1Q <4～6月>	2Q <7～9月>	3Q <10～12月>	4Q <1～3月>	1Q <4～6月>	2Q <7～9月>	3Q <10～12月>	4Q <1～3月>	1Q <4～6月>
売上高	739	923	870	1,206	800	967	825	1,165	799
前年同期比	△34.1%	△21.0%	△19.8%	△8.5%	+8.3%	+4.8%	△5.1%	△3.4%	△0.2%
営業損益	△141	7	△3	121	△44	29	△20	124	△54

09年度　10年度　11年度

© NEC Corporation 2011

キャリアネットワーク事業 売上高・営業損益推移

（億円）

前年同期比

営業利益率

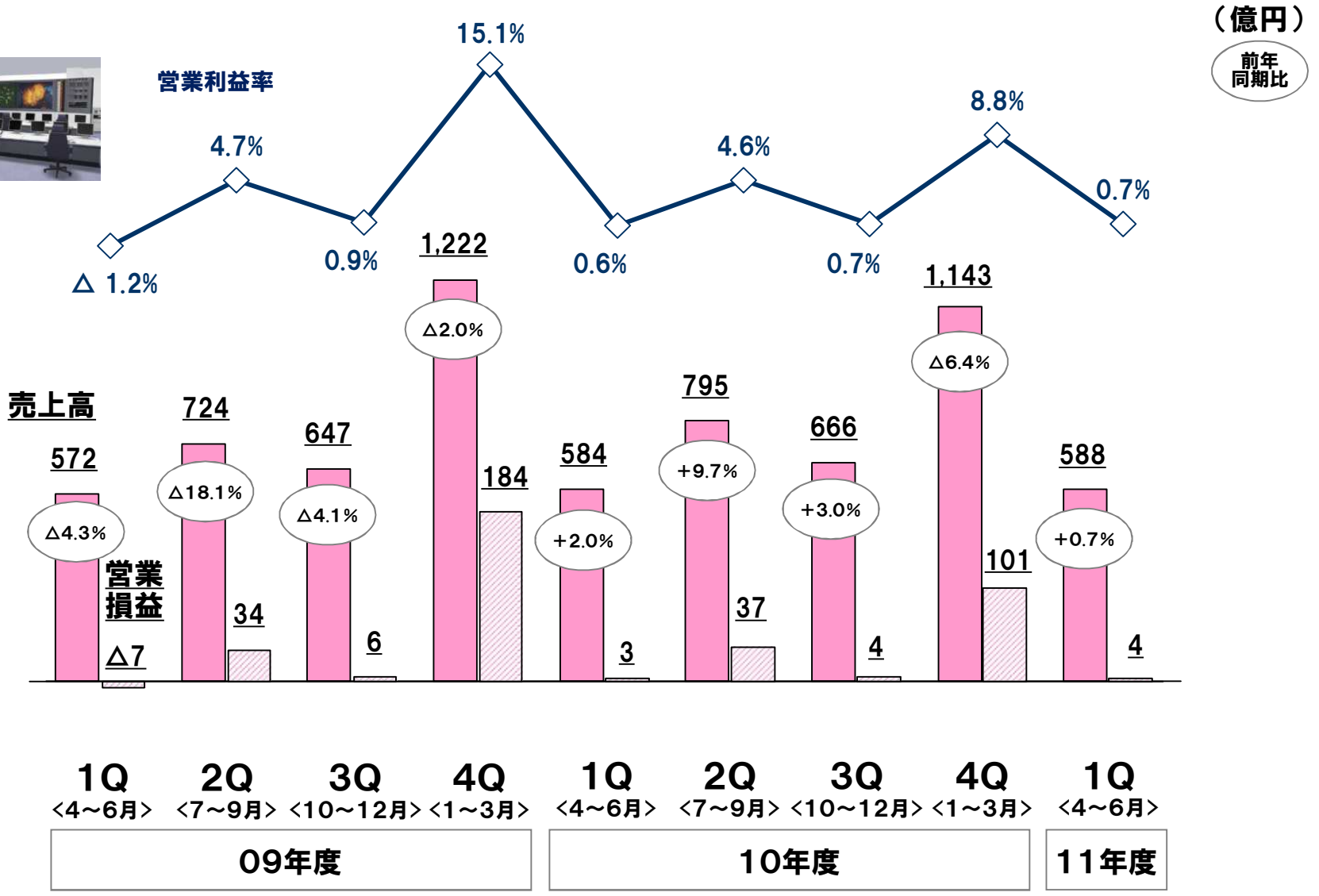
	1Q <4～6月>	2Q <7～9月>	3Q <10～12月>	4Q <1～3月>	1Q <4～6月>	2Q <7～9月>	3Q <10～12月>	4Q <1～3月>	1Q <4～6月>
営業利益率	0.4%	7.1%	1.4%	9.6%	△ 5.1%	8.4%	4.0%	14.8%	1.4%
売上高	1,417	1,669	1,429	1,759	1,168	1,542	1,457	1,887	1,319
前年同期比	△17.1%	△25.9%	△19.8%	△24.4%	△17.6%	△7.6%	+2.0%	+7.3%	+12.9%
営業損益	5	118	20	169	△60	130	58	279	18

09年度　10年度　11年度

© NEC Corporation 2011

社会インフラ事業 売上高・営業損益推移

（億円）



© NEC Corporation 2011

パーソナルソリューション事業 売上高・営業損益推移

（億円）

前年同期比

営業利益率

4.6%　△0.4%　2.0%　3.6%　△0.2%　1.6%　△0.8%　△1.8%　0.7%

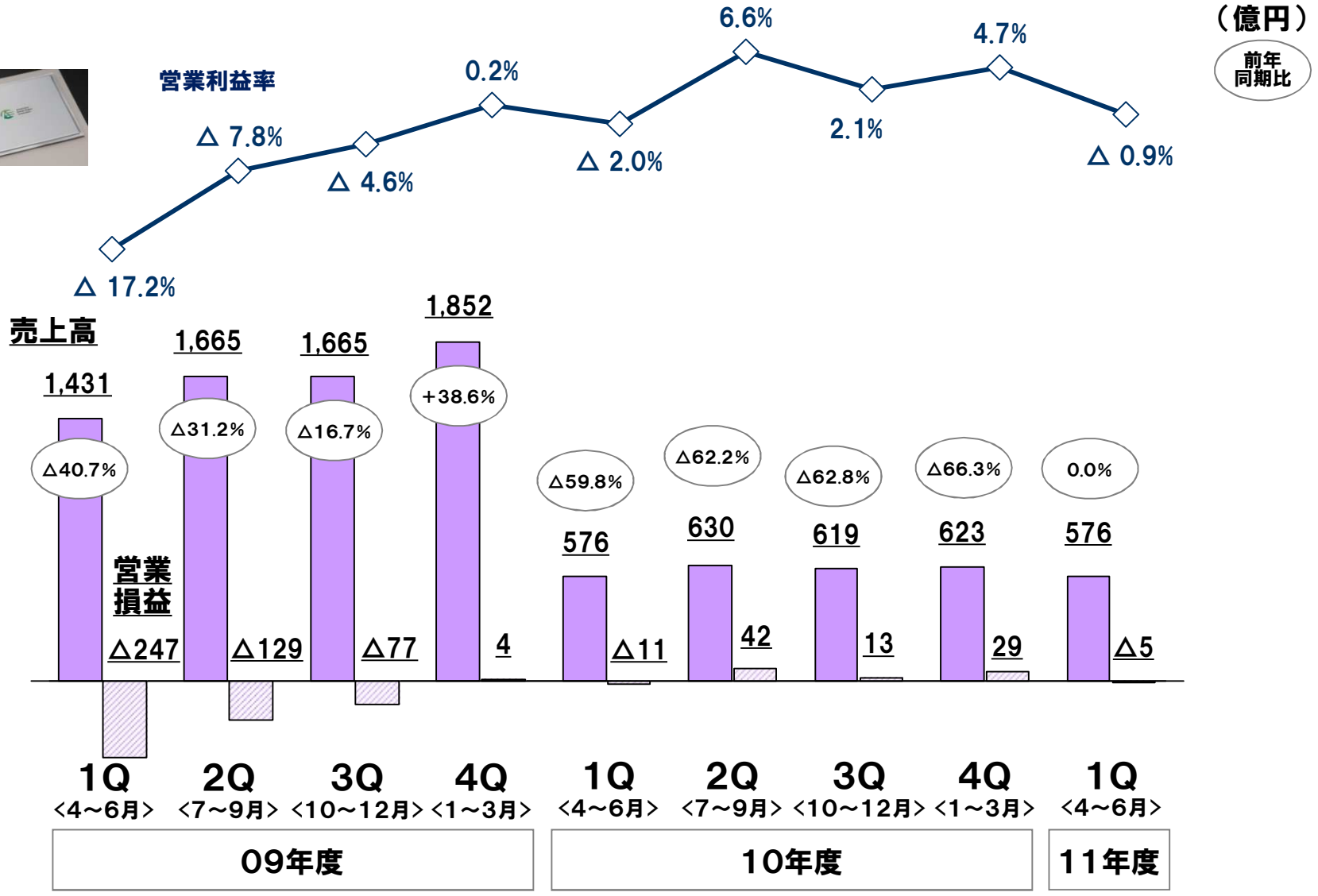
売上高

	1Q <4～6月>	2Q <7～9月>	3Q <10～12月>	4Q <1～3月>	1Q <4～6月>	2Q <7～9月>	3Q <10～12月>	4Q <1～3月>	1Q <4～6月>
前年同期比	△17.1%	△23.6%	△13.4%	+4.6%	△0.7%	+18.6%	+9.2%	△8.7%	△5.2%
売上高	1,949	1,674	1,767	1,987	1,935	1,985	1,930	1,815	1,835
モバイルターミナル	932	639	593	661	791	763	803	678	795
PC その他	1,017	1,035	1,174	1,326	1,144	1,223	1,127	1,137	1,040
営業損益	89	△7	34	72	△4	33	△16	△32	13

09年度　10年度　11年度

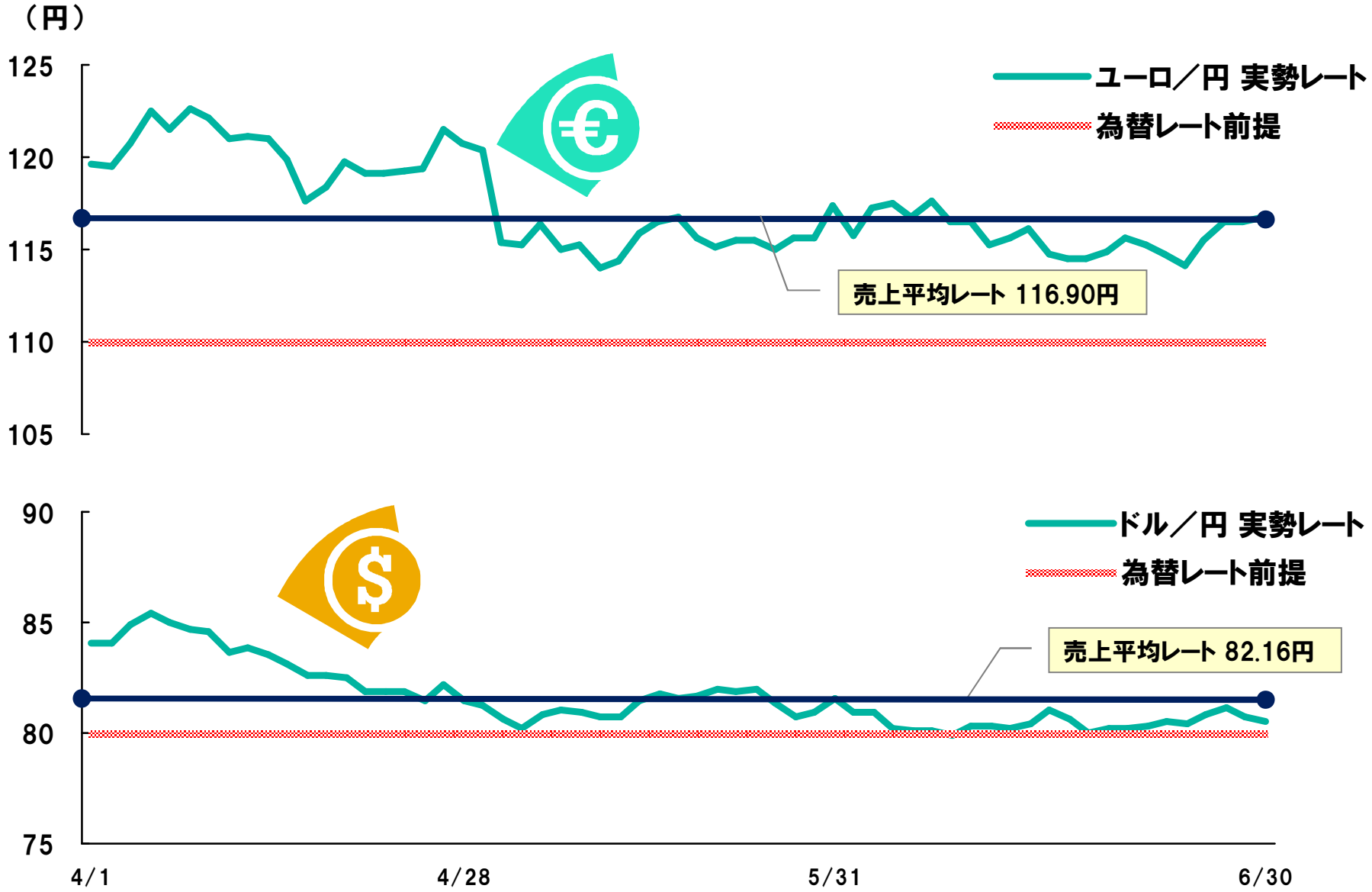
© NEC Corporation 2011

その他 売上高・営業損益推移



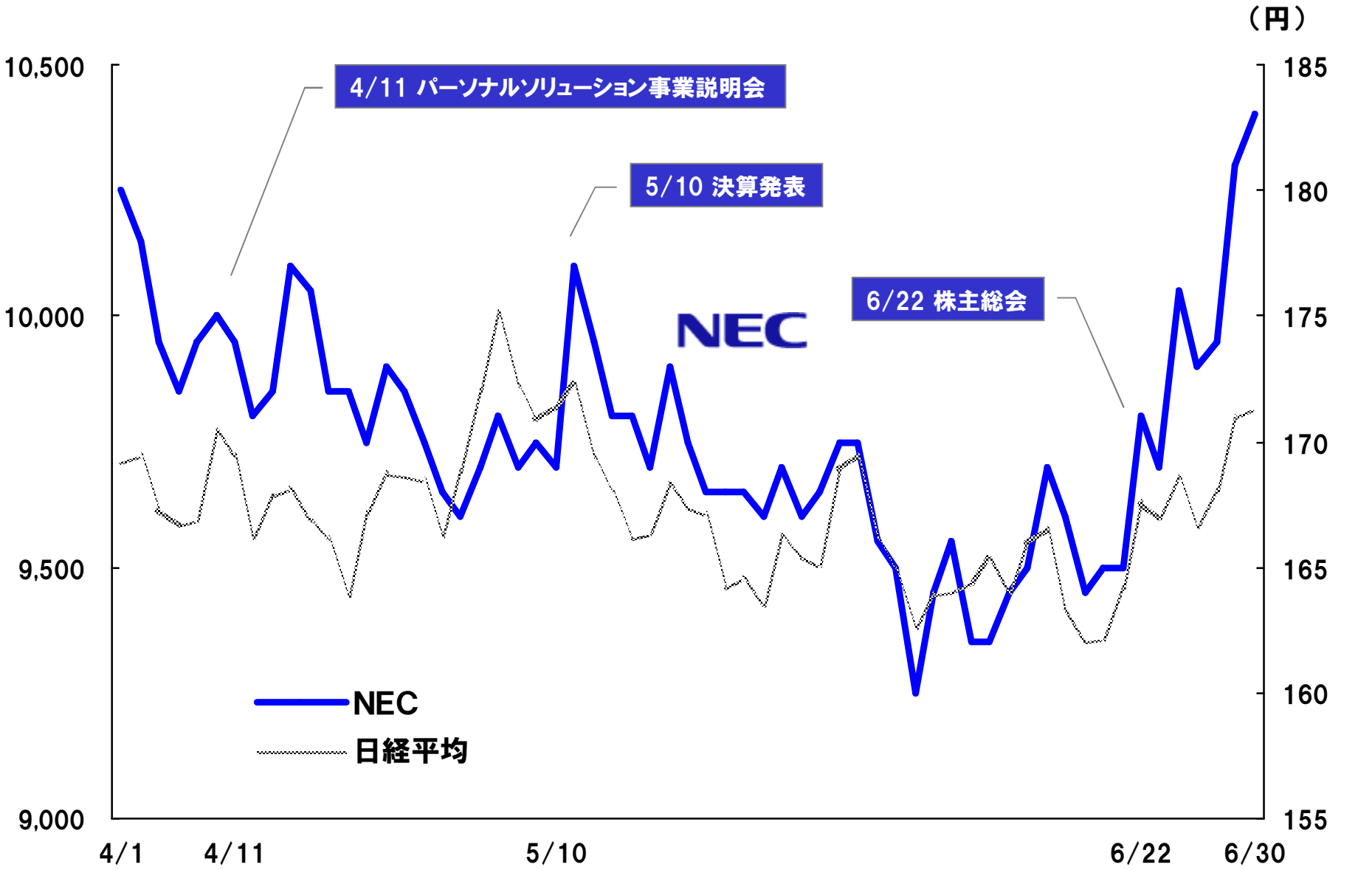
© NEC Corporation 2011

為替レートの推移



© NEC Corporation 2011

株価の推移



© NEC Corporation 2011

＜将来予想に関する注意＞

本資料には日本電気株式会社および連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが金融商品取引所や関東財務局長等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）ルールに準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご了承願います。実際の結果に影響を与える要因には、(1) NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2) 市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4) NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5) NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6) 市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7) 為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、(8) NECが保有する上場株式の減損をもたらす株価下落など、株式市場における好ましくない状況や動向、(9) NECに対する規制当局による措置や法的手続きによる影響等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、有価証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、有価証券の募集または売出しを行うことはできません。

（注）

当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本会計基準」を採用しています。

年度表記について、2009年度は2010年3月期、2010年度は2011年3月期（以下同様）を表しています。